

「男女共同参画」に関する市政モニター調査結果報告書

I 調査の概要

1. 目的

この調査は第3次高島市男女共同参画プランの策定にあたり、令和9年度から10年間の方向性を定めるため、施策の現状を調査するとともに、今後の施策方針の参考とさせていただくことを目的としています。

2. 対象

市政モニター登録者 771人

3. 期間

令和8年5月13日（水）～令和8年5月29日（金）

4. 方法

郵送による調査票の配付・回収およびWEBによる回答

5. 回収状況

回収数：520人（郵送：192人、WEB：328人）

回収率：67.4%

6. 担当課

市民生活部 人権施策課

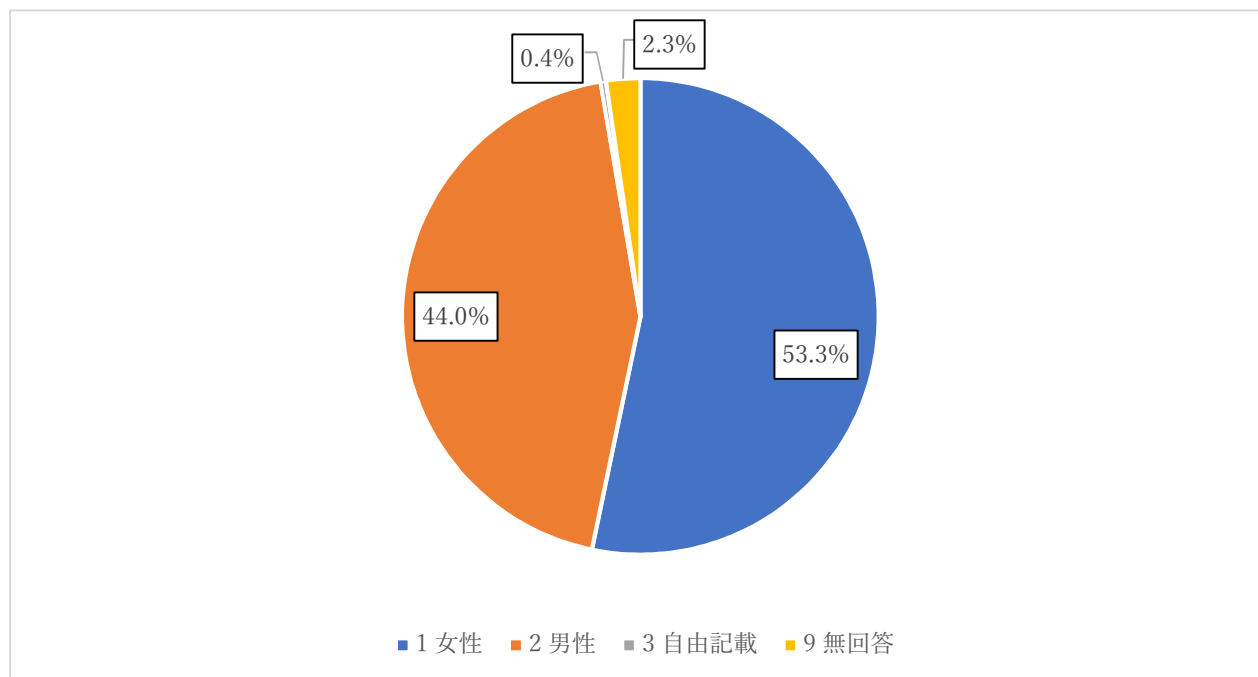
7. 結果の表示方法

- ・各設問の結果は設問の回答者数（有効回答数）を基数とした百分率（%）で示しています。また、百分率は小数点以下第1位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合は、回答者全体に対する回答割合を示しているため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・自由記述欄については、要約し、内容を損なわない範囲で誤字脱字等の一部を修正しています。

あなたご自身のことについておたずねします。

問 1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

「女性」が 53.3%、「男性」が 44.0%でした。



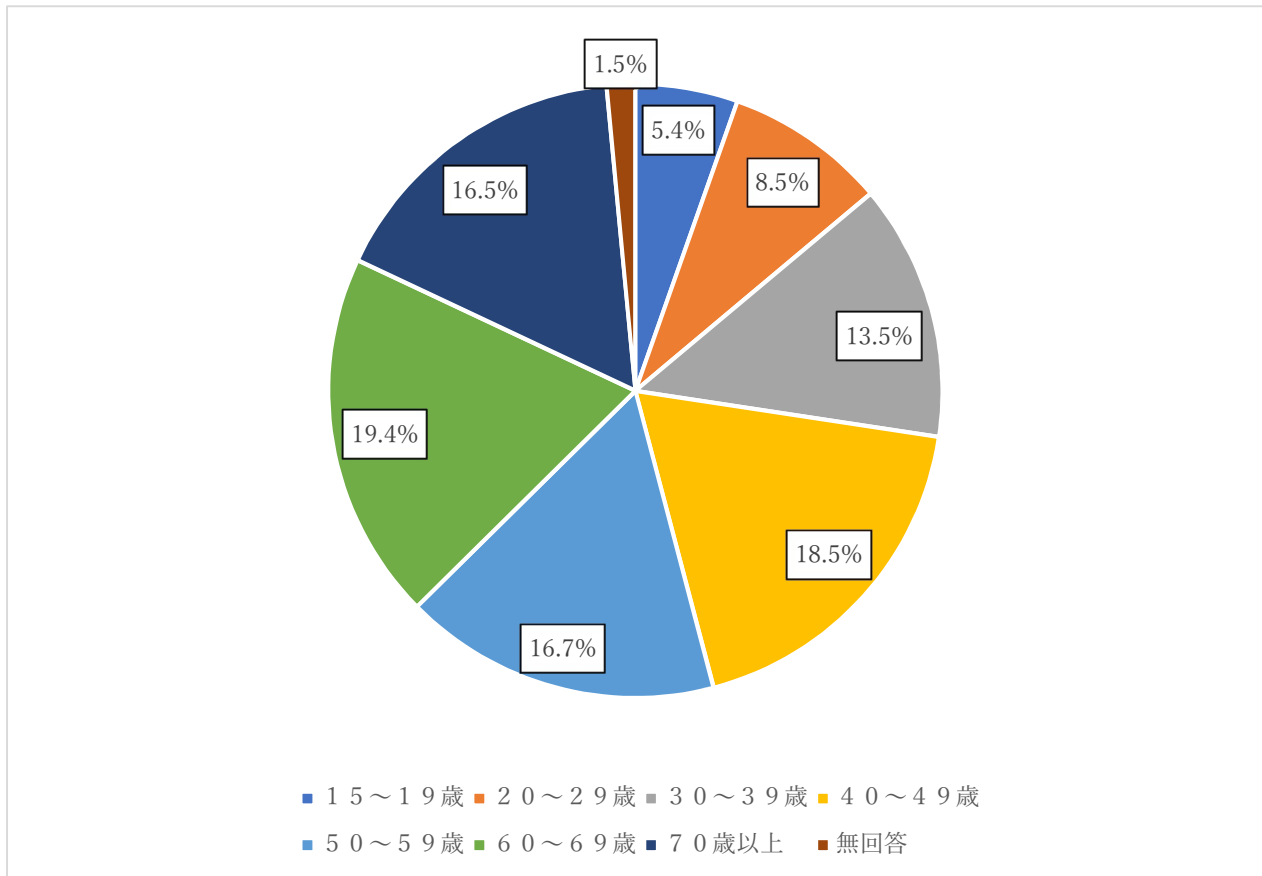
1 女性	277
2 男性	229
3 自由記載	2
9 無回答	12

(単位：人)

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(〇は1つだけ)

(令和8年1月1日現在の満年齢)

「60～69歳」が19.4%、「40～49歳」が18.5%でした。全体の半数が50歳以上です。

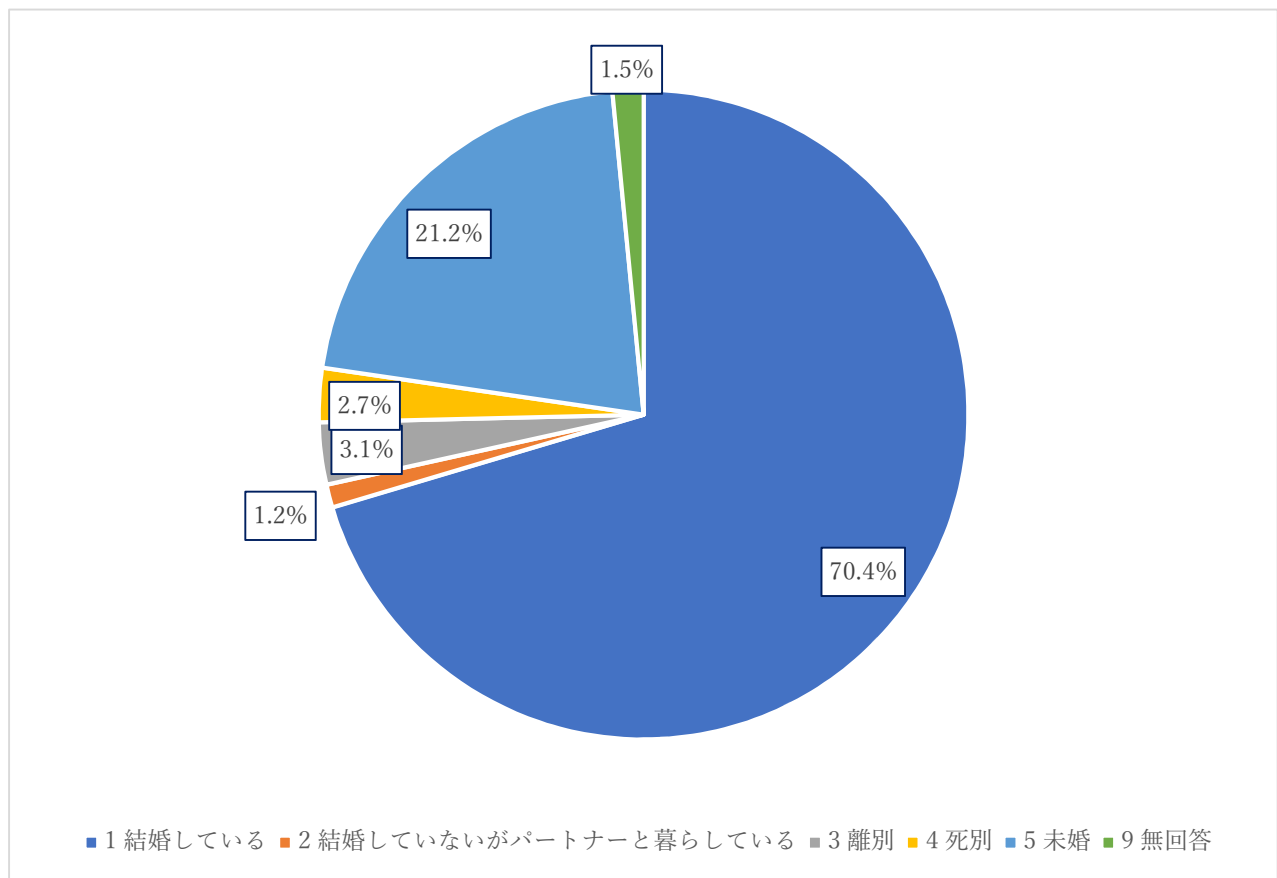


1 15～19歳	28
2 20～29歳	44
3 30～39歳	70
4 40～49歳	96
5 50～59歳	87
6 60～69歳	101
7 70歳以上	86
9 無回答	8

(単位：人)

問3 あなたは結婚されていますか。(〇は1つだけ)

「結婚している」が70.4%、「未婚」が21.2%でした。

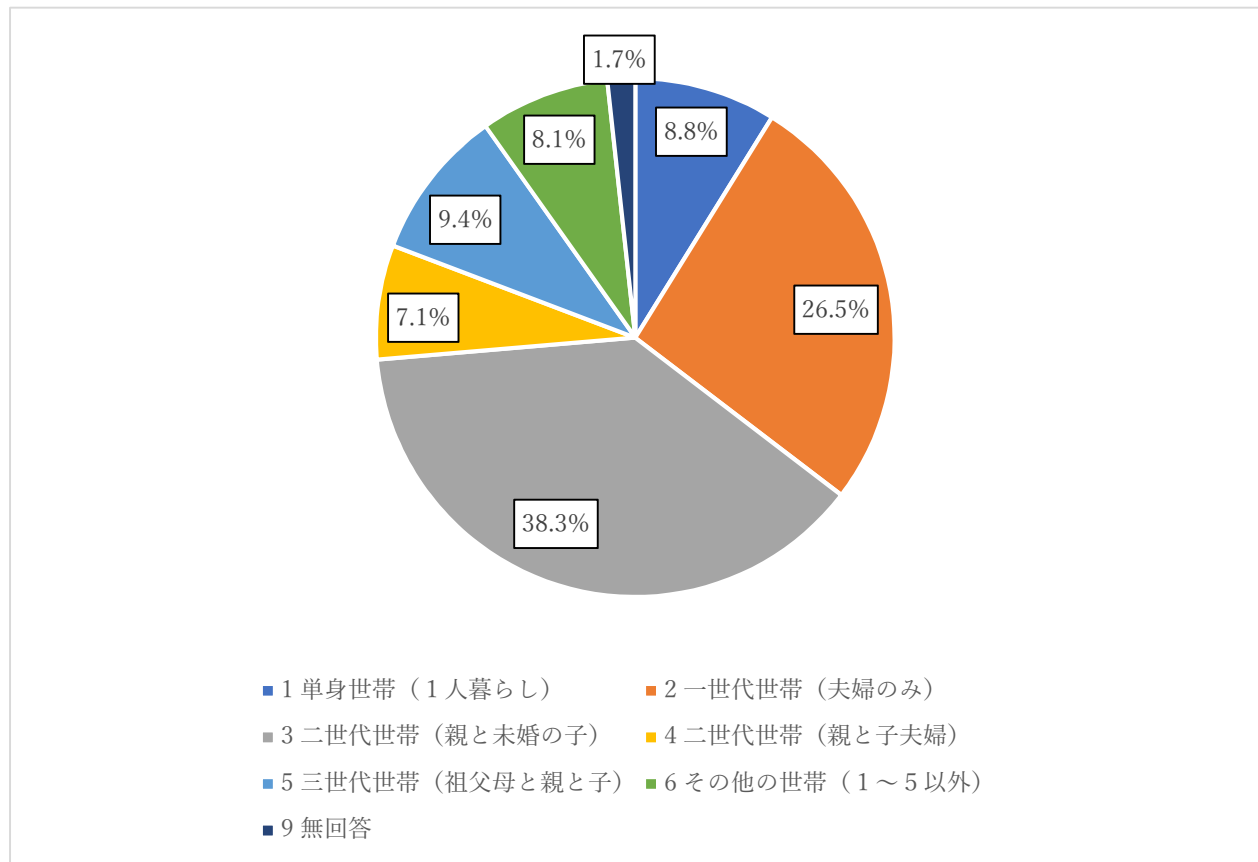


1 結婚している	366
2 結婚していないがパートナーと暮らしている	6
3 離別	16
4 死別	14
5 未婚	110
9 無回答	8

(単位：人)

問4 あなたのご家族の家族構成はどれですか。(〇は1つだけ)

「二世世代世帯（親と未婚の子）」が38.3%、「一世代世帯（夫婦のみ）」が26.5%でした。



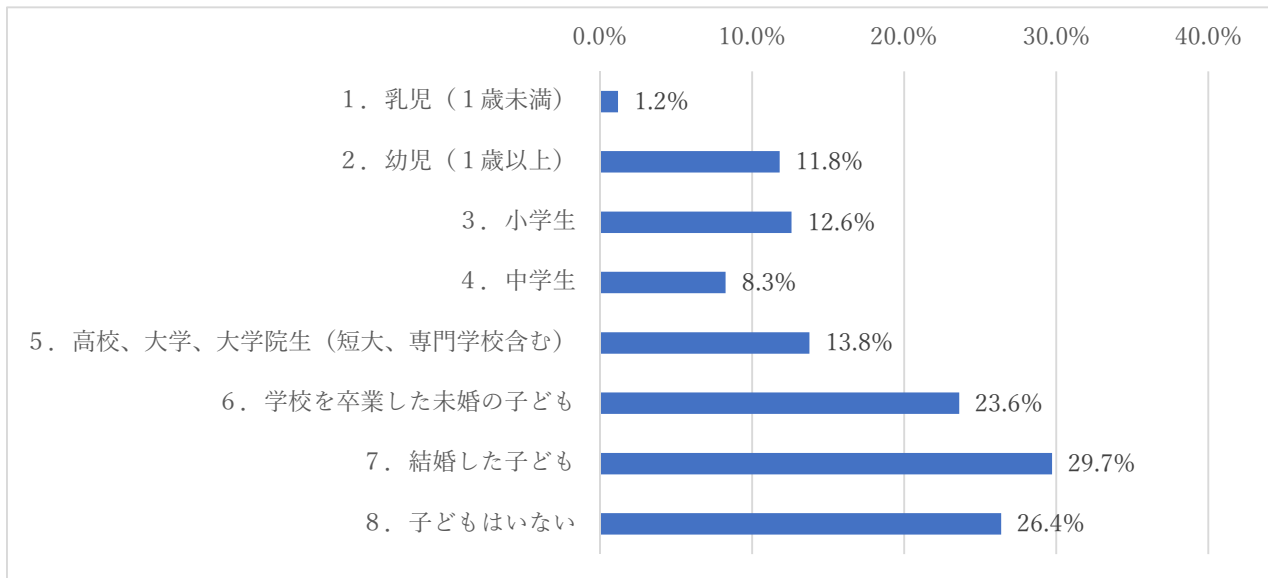
1 単身世帯（1人暮らし）	46
2 一世代世帯（夫婦のみ）	138
3 二世世代世帯（親と未婚の子）	199
4 二世世代世帯（親と子夫婦）	37
5 三世世代世帯（祖父母と親と子）	49
6 その他の世帯（1～5以外）	42
9 無回答	9

（単位：人）

問5 あなたのお子さんの状況を選んでください。※別居しているお子さんも含めます。

(あてはまるものをすべてに○)

「結婚した子ども」が29.7%、「子どもはいない」が26.4%、「学校を卒業した未婚の子ども」が23.6%でした。

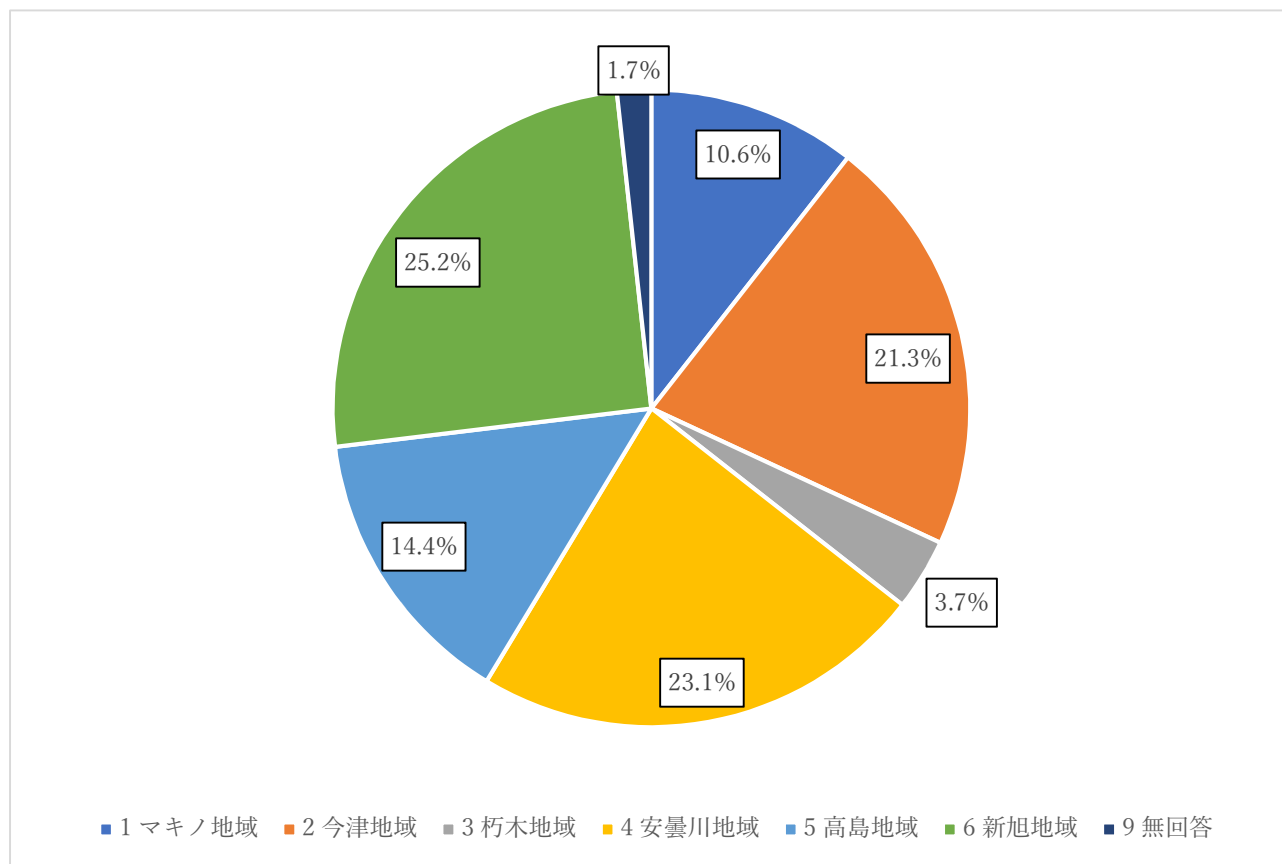


1. 乳児（1歳未満）	6
2. 幼児（1歳以上）	60
3. 小学生	64
4. 中学生	42
5. 高校、大学、大学院生（短大、専門学校含む）	70
6. 学校を卒業した未婚の子ども	120
7. 結婚した子ども	151
8. 子どもはいない	134

(単位：件数)

問6 あなたはどこにお住まいですか。（あてはまる旧町村名に○）

「新旭地域」が25.2%、「安曇川地域」が23.1%、「今津地域」が21.3%でした。



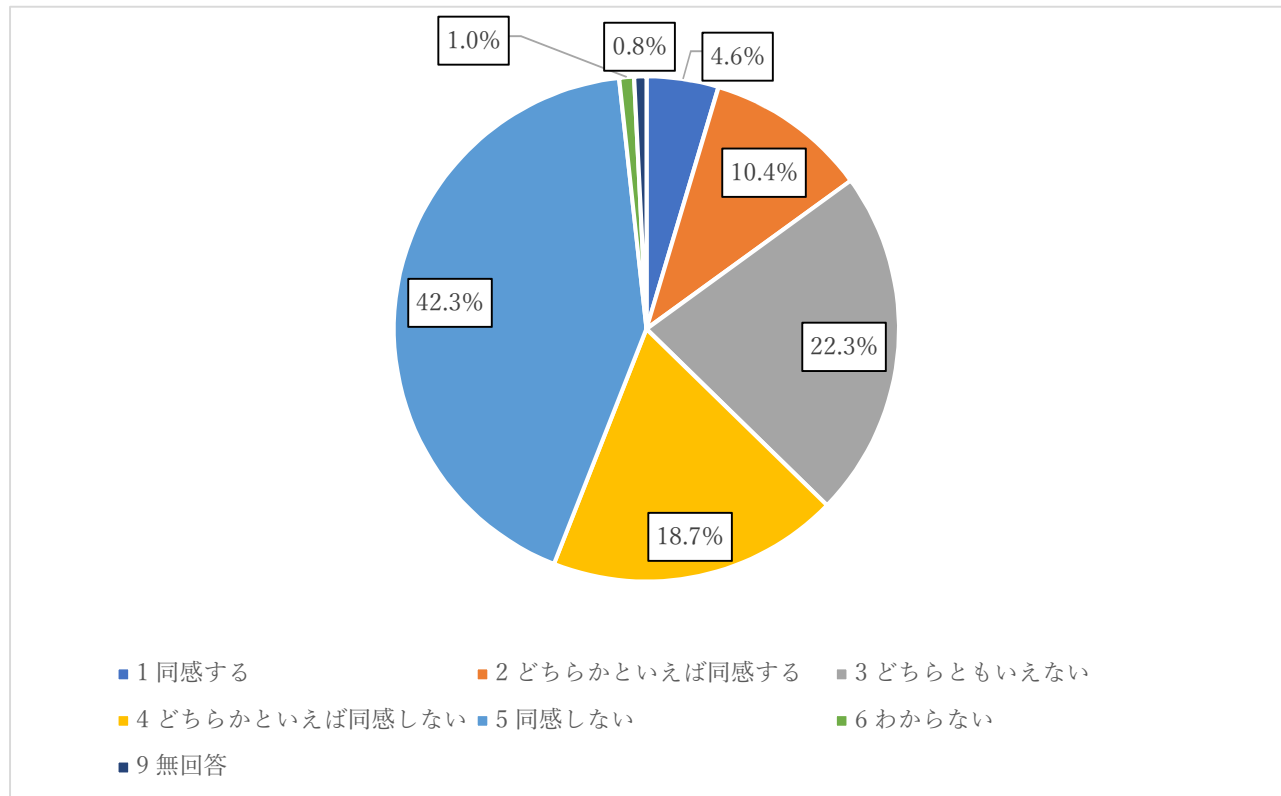
1 マキノ地域	55
2 今津地域	111
3 朽木地域	19
4 安曇川地域	120
5 高島地域	75
6 新旭地域	131
9 無回答	9

（単位：人）

男女の平等についておたずねします。

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に最も近いものの番号を1つだけ選んでください。

「同意しない」が42.3%、「どちらともいえない」が22.3%、「どちらかといえば同意しない」が18.7%でした。

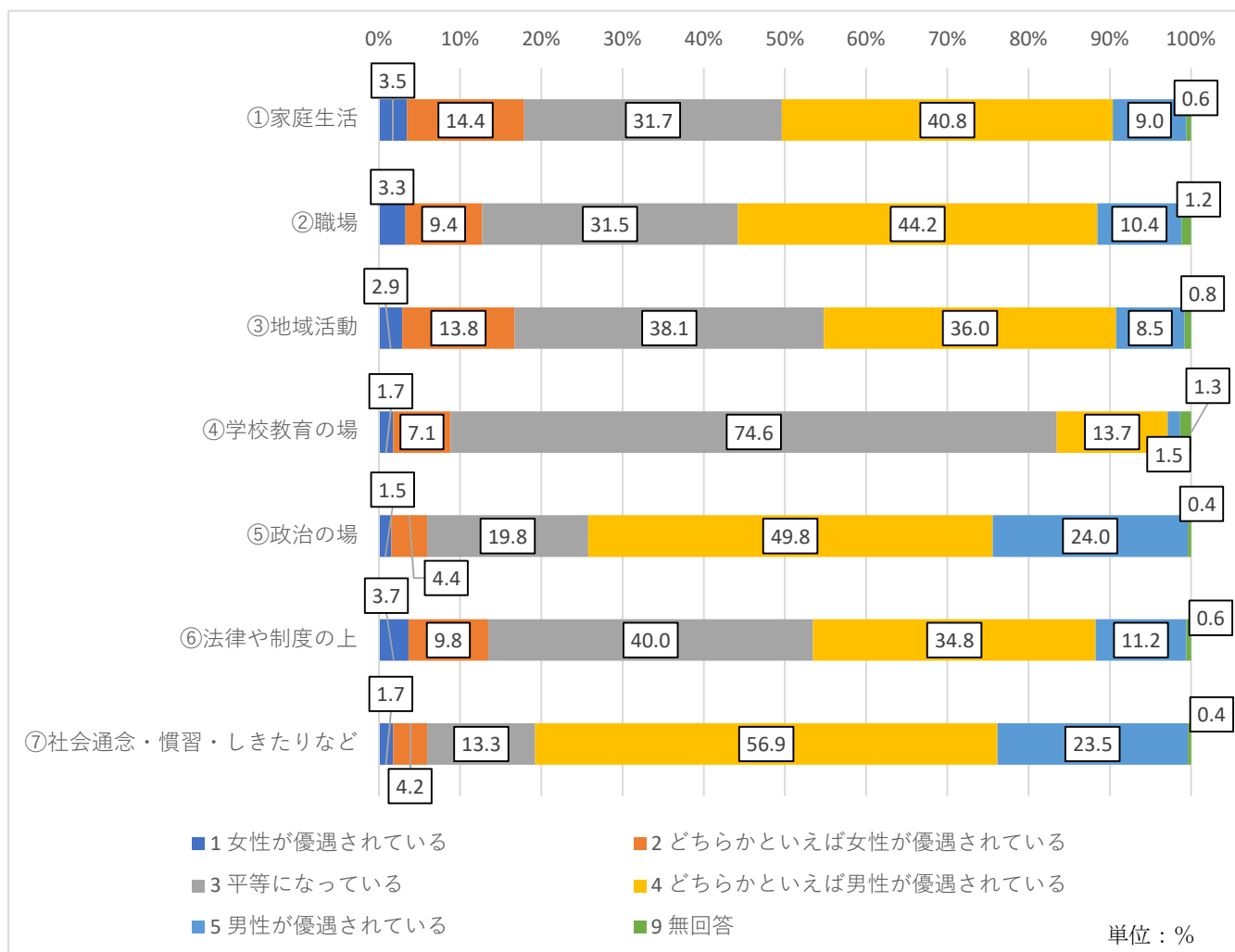


1 同意する	24
2 どちらかといえば同意する	54
3 どちらともいえない	116
4 どちらかといえば同意しない	97
5 同意しない	220
6 わからない	5
9 無回答	4

(単位：人)

問8 あなたは次の①～⑦の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれに1つだけ選んでください。

「学校教育の場」では「平等になっている」が74.6%である一方、「社会通念・慣習・しきたりなど」「政治の場」では「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



	①家庭生活	②職場	③地域活動	④学校教育の場	⑤政治の場	⑥法律や制度の上	⑦社会通念・慣習・しきたりなど
1 女性が優遇されている	18	17	15	9	8	19	9
2 どちらかといえば女性が優遇されている	75	49	72	37	23	51	22
3 平等になっている	165	164	198	388	103	208	69
4 どちらかといえば男性が優遇されている	212	230	187	71	259	181	296
5 男性が優遇されている	47	54	44	8	125	58	122
9 無回答	3	6	4	7	2	3	2

(単位：人)

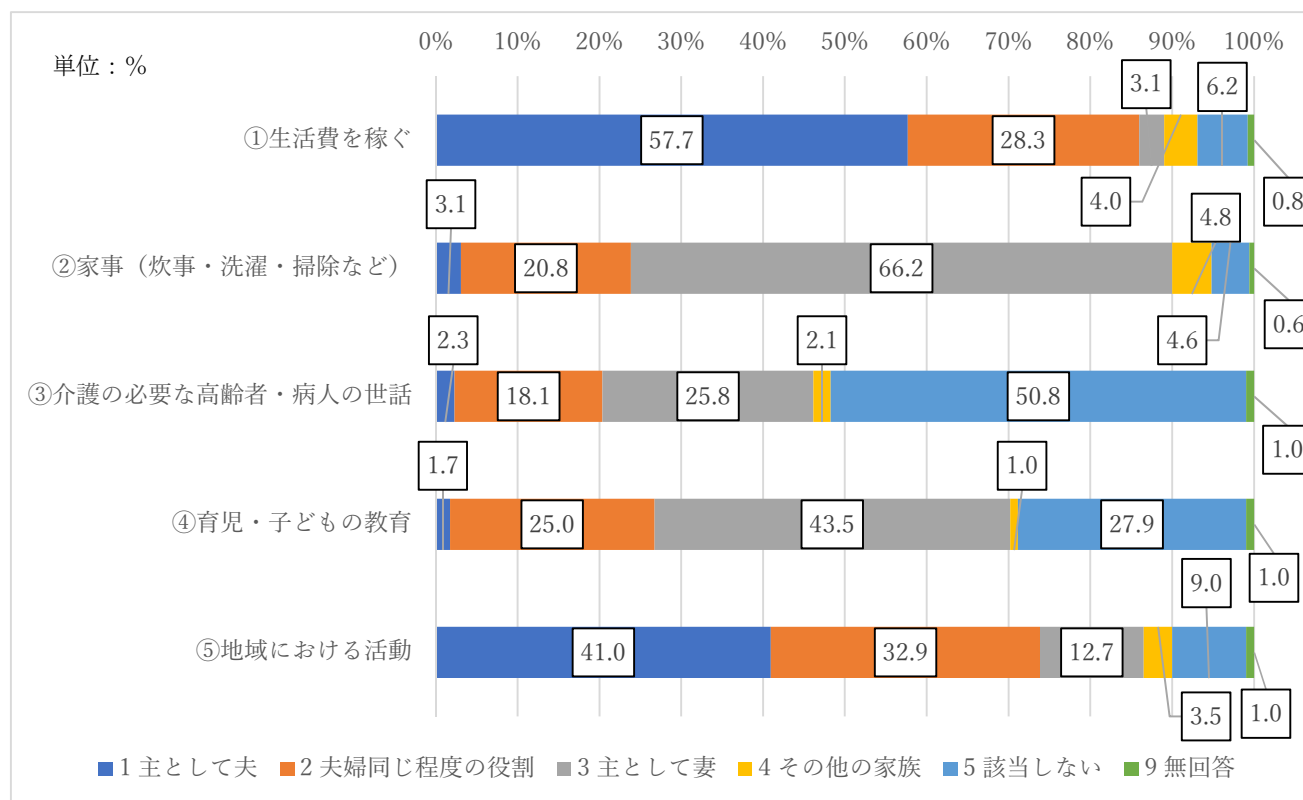
家庭生活についておたずねします。

問9 次の「ことがら」について、あなたのご家庭では主にだれが行っていますか。

それぞれに1つだけ選んでください。

(配偶者のいない方は、次の日常的なことが誰の役割だと思われるかお答えください。)

「家事（炊事・洗濯・掃除など）」「育児・子どもの教育」は女性の割合が高く、「生活費を稼ぐ」「地域における活動」は男性の割合が高くなっています。



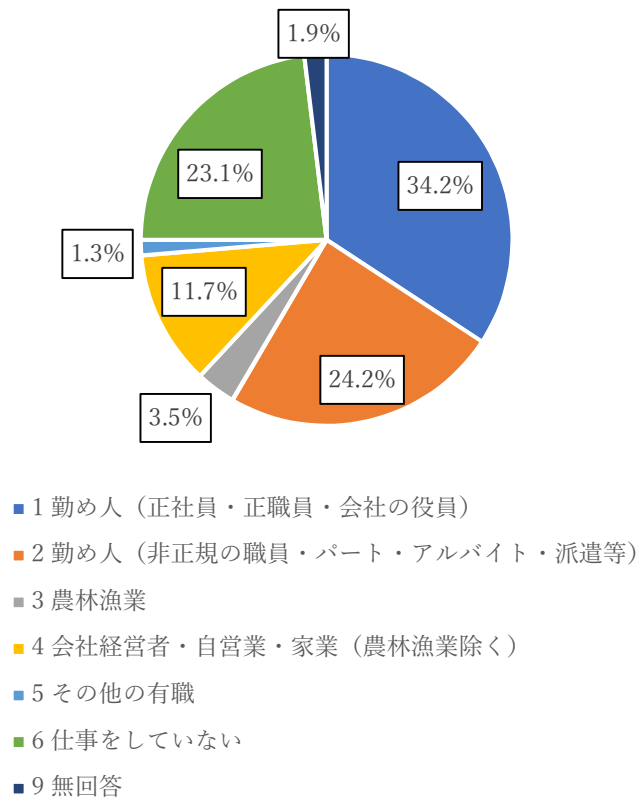
	①生活費を 稼ぐ	②家事 (炊事・ 洗濯・掃除 など)	③介護の 必要な高齢者 病人の世話	④育児・ 子どもの教育	⑤地域に おける活動
1 主として夫	300	16	12	9	213
2 夫婦同じ程度の役割	147	108	94	130	171
3 主として妻	16	344	134	226	66
4 その他の家族	21	25	11	5	18
5 該当しない	32	24	264	145	47
9 無回答	4	3	5	5	5

(単位：人)

労働についておたずねします。

問 10 あなたの収入を得る仕事（産前産後休暇、育児休暇中も含む）の形態は次のどれですか。番号を1つだけ選んでください。仕事をされていない場合は仕事をしていないを選択してください。

「勤め人（正社員・正職員・会社の役員）」が 34.2%、「勤め人（非正規の職員・パート・アルバイト・派遣等）」が 24.2%、「仕事をしていない」が 23.1%となっています。



1 勤め人（正社員・正職員・会社の役員）	178
2 勤め人（非正規の職員・パート・アルバイト・派遣等）	126
3 農林漁業	18
4 会社経営者・自営業・家業（農林漁業除く）	61
5 その他の有職	7
6 仕事をしていない	120
9 無回答	10

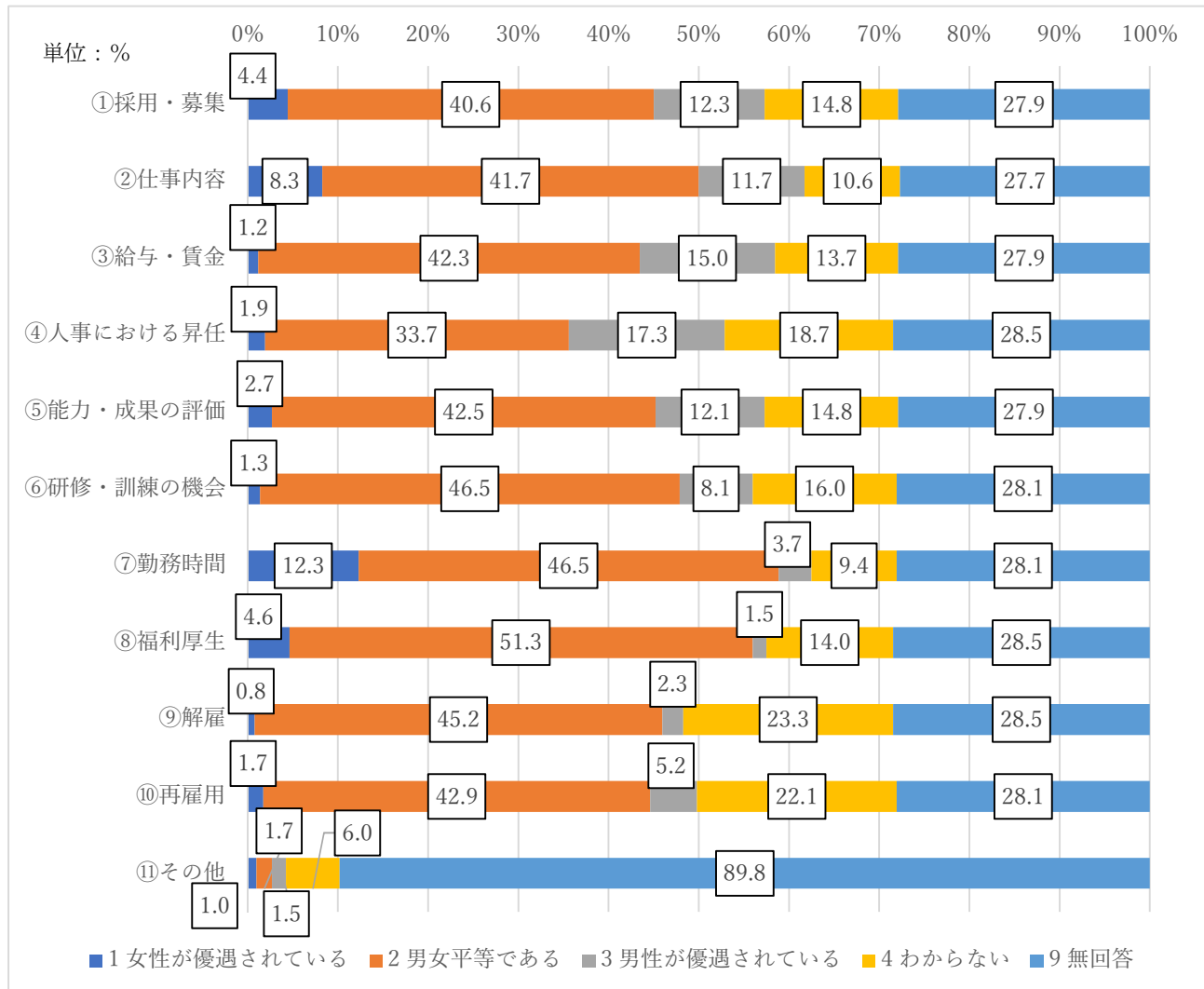
（単位：人）

＜「その他の有職」の自由記述＞

シルバー人材センター、パソコンでの仕事（不定期に入ってくる）、画業、公務員、就労支援 B 型、専業従事者

問 11 問 10 で仕事をしていない以外を選択された方に質問です。あなたの職場で男女の格差があると思いますか。それぞれに1つだけ選んでください。

すべての項目について「男女平等である」の割合が高い中で、「勤務時間」で「女性が優遇されている」が「男性が優遇されている」より割合が高く、「人事における昇任」「給与・賃金」で「男性が優遇されている」が「女性が優遇されている」より割合が高くなっています。



	①採用・募集	②仕事内容	③給与・賃金	④人事における昇任	⑤能力・成果の評価	⑥研修・訓練の機会	⑦勤務時間	⑧福利厚生	⑨解雇	⑩再雇用	⑪その他
1 女性が優遇されている	23	43	6	10	14	14	64	24	4	9	5
2 男女平等である	211	217	220	175	221	221	242	267	235	223	9
3 男性が優遇されている	64	61	78	90	63	63	19	8	12	27	8
4 わからない	77	55	71	97	77	77	49	73	121	115	31
9 無回答	145	144	145	148	145	145	146	148	148	146	467

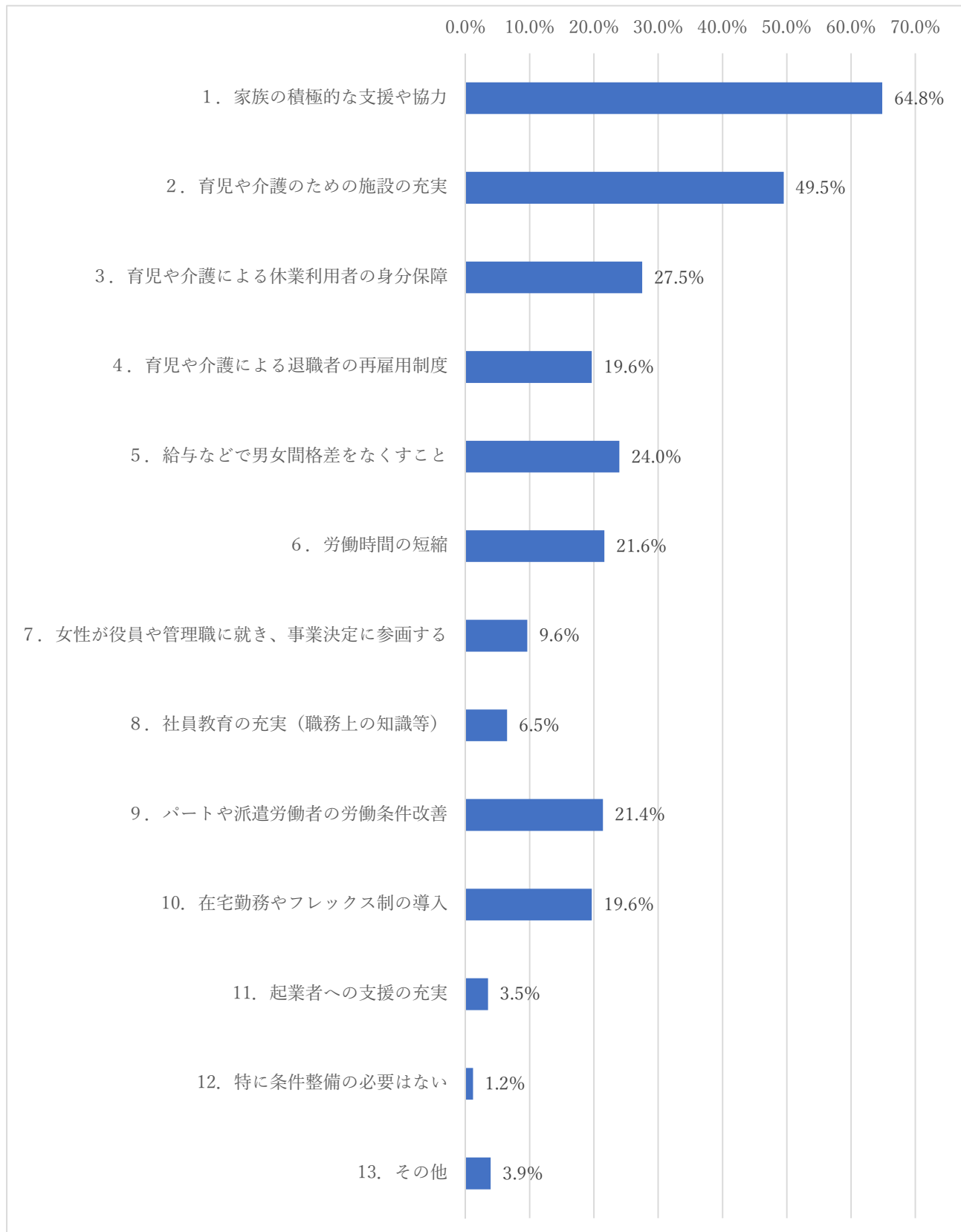
(単位：人)

＜「その他」の自由記述＞

- ・キャリア形成のしやすさ(女性は妊娠出産等で勤務が途切れる期間がどうしても発生するため)
- ・そもそも職場に女性が少ない
- ・パソコンでの仕事なので、担当者以外のワーカーとの関わりがありません
- ・高島市はまだまだ男性メインだと思う。そのように考える人が多いと思う
- ・今の職場にはないが、女性の役員を増やす為に能力と関係なく昇進するのはおかしい。育休制度についてとりやすいのは良いことだが、しわ寄せがくる人材に対してのフォローや待遇の見直しが必要な場合は多いと思う
- ・私語ばかりで生産性が低い方が多い
- ・自営業なのでよくわからない
- ・女性が活躍してほしいが男の古い考え方がみえる
- ・女性に関する特別事項が多い印象
- ・女性の職場です
- ・女性への躰が甘い
- ・生活習慣的な事
- ・男性専用車両の無さ
- ・年金制度
- ・保育所などのお迎えは母親が多いイメージ

問 12 あなたは、女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。3つまで選んでください。

「家族の積極的な支援や協力」が 64.8%、「育児や介護のための施設の充実」が 49.5%、「育児や介護による休業利用者の身分保障」が 27.5%の順となっています。



1. 家族の積極的な支援や協力	330
2. 育児や介護のための施設の充実	252
3. 育児や介護による休業利用者の身分保障	140
4. 育児や介護による退職者の再雇用制度	100
5. 給与などで男女間格差をなくすこと	122
6. 労働時間の短縮	110
7. 女性が役員や管理職に就き、事業決定に参画する	49
8. 社員教育の充実（職務上の知識等）	33
9. パートや派遣労働者の労働条件改善	109
10. 在宅勤務やフレックス制の導入	100
11. 起業家への支援の充実	18
12. 特に条件整備の必要はない	6
13. その他	20

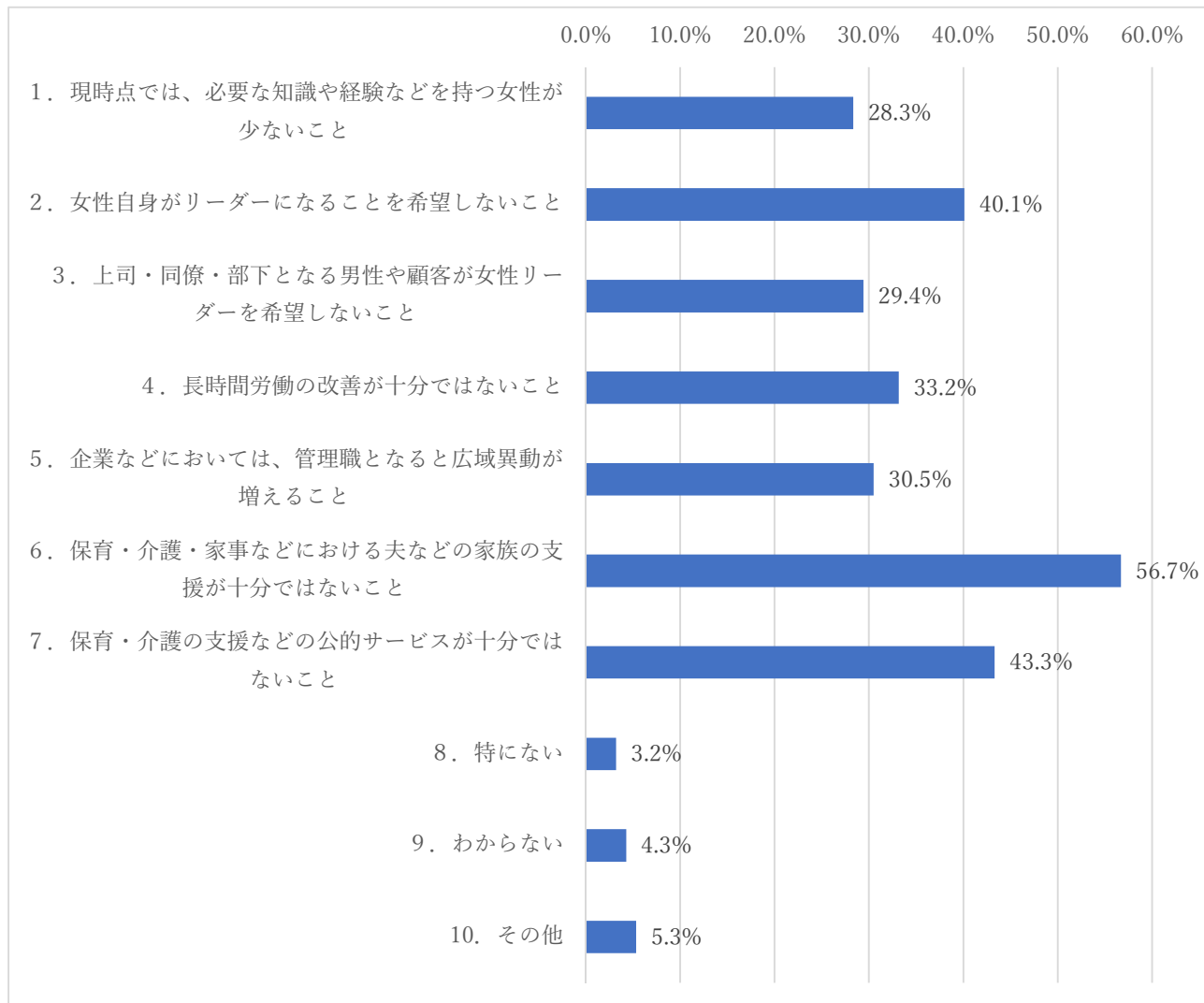
（単位：件数）

<「その他」の自由記述>

- ・この設問が女性についてのみな点がおかしい
- ・そもそも家庭に専念出来るように普通の会社員の夫の稼ぎで妻と子供を養える世の中にするべきと考えます
- ・遠慮なく育休や時短勤務が取れるよう、育休の方の仕事を肩代わりする人には+αで賃金を上げる、短期間のみ派遣を雇える程度の補助金が会社につく、または月に3,4回家事代行やベビーシッターを雇えるチケットを配布するなど
- ・休職したときの人的補充
- ・共働きではないと生活できない日本経済がおかしいと思う
- ・景気回復
- ・効率化による労働時間の短縮（男女問わず）
- ・子どもなどの状況に応じて勤務時間、育休を対応してくれる
- ・質問がすでに古い考え
- ・女性が安全に働ける環境を作ること
- ・女性と言っても、未婚と既婚（子供あり）では、対応がことなる
- ・女性の意識改革
- ・職場における育児への理解及び周りからサポートを得られるような環境の整備
- ・税金を下げ、男性の収入で生活できる環境を作ること、子育てに専念できる環境を目指すほうが女性の社会進出より重要と考えます
- ・男女の身体的、生理的に差異に対して主だって発生する、事象に対しての何らかのフォローは必要かと思います
- ・知らないです
- ・夫または妻一人の収入で十分に生活できるだけの給与を貰えること
- ・物価に合わせて賃金を上げる。適正な給与であれば妻が働く必要がない
- ・本人の意思（男性が仕事をするものだとして女性側も思っているからすぐに、簡単に仕事を辞めることが多いように思う）

問 13 あなたは、経済・地域・政治などの各分野で、女性のリーダーを増やすことへの課題となるものは何だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が 56.7%、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 43.3%、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が 40.1%の順となっています。



1. 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	53
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと	75
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	55
4. 長時間労働の改善が十分ではないこと	62
5. 企業などにおいては、管理職となると広域異動が増えること	57
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	106
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	81
8. 特にない	6
9. わからない	8
10. その他	10

(単位：件数)

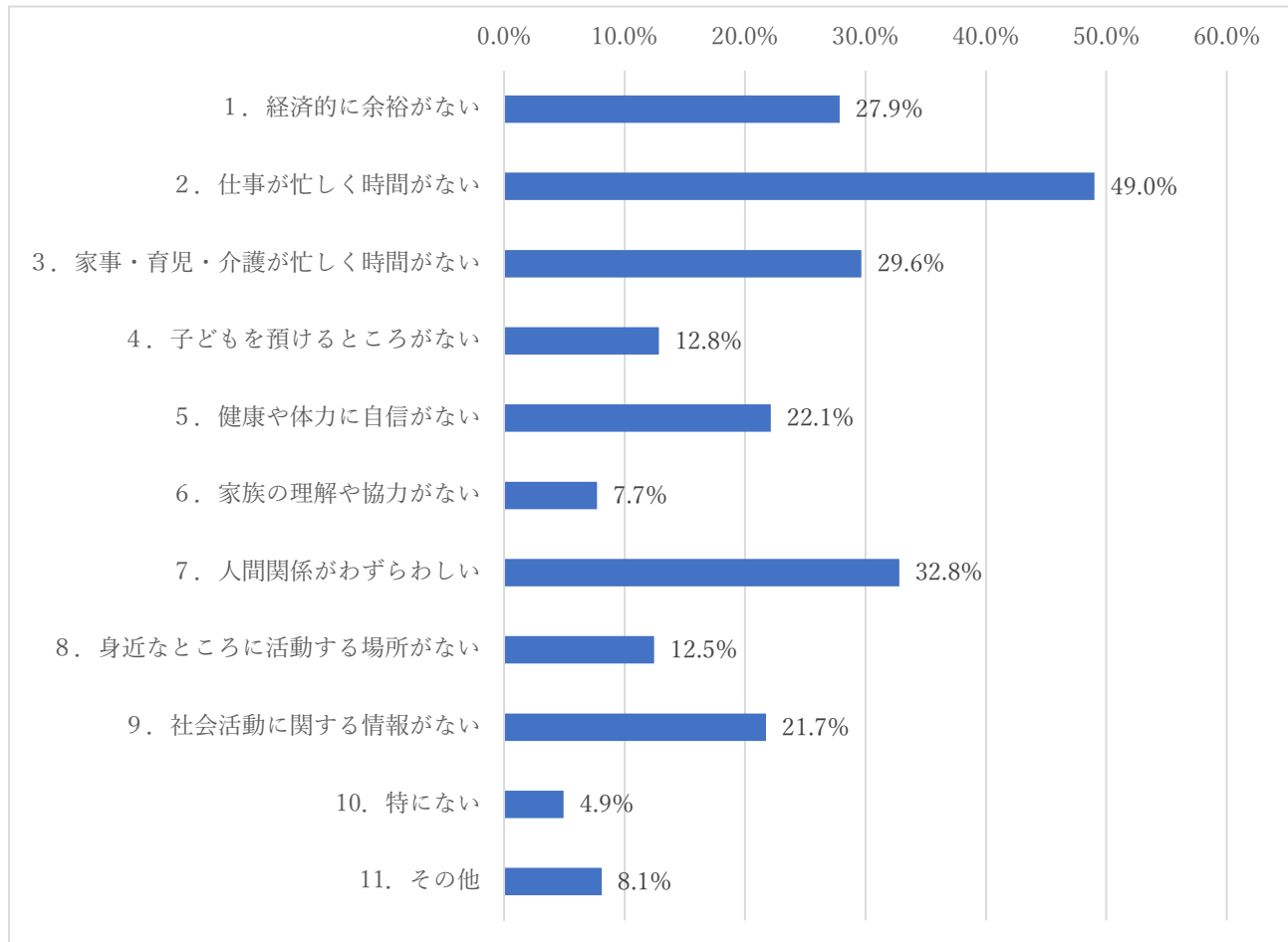
<「その他」の自由記述>

- ・お互いの立場等の理解
- ・なぜ女性にこだわるのか？理解できない。優れた女性なら勝手にリーダーになっていくと思う。女性だけ助け優遇することは女性に失礼かと思います
- ・基本的に女性は女性に厳しいので、上に立つ人間として女性はなかなか続かない。上に立つ人間が男性だとなぜかうまくいくことが多いと思う
- ・仕事、保育、介護が調和出来ない環境
- ・子どもを産めるのは女性、育児休業以外の産前産後の休業は必須なので、その所をカバーできる施策が必要
- ・職場でのやりがいの発見、維持をする
- ・正規の社員としての立場ではないので
- ・生理による PMS、腹痛や腰痛、更年期障害など、本来のパフォーマンスを出すのが難しい時期が多い
- ・選択肢のほとんどが、「課題」ではなく「問題」です。課題と問題の違いを確認して、問いを正してください。それと、問いと選択肢が極めて表面的で、真因を突いていません。それが理解・確認できなければどれだけアンケートを取ろうが社会の問題は解決できません

地域社会についておたずねします。

問 14 あなたが、社会活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。あてはまるものすべてを選んでください。

「仕事が忙しく時間がない」が 49.0%、「人間関係がわずらわしい」が 32.8%、「家事・育児・介護が忙しく時間がない」が 29.6%の順となっています。



1. 経済的に余裕がない	141
2. 仕事が忙しく時間がない	248
3. 家事・育児・介護が忙しく時間がない	150
4. 子どもを預けるところがない	65
5. 健康や体力に自信がない	112
6. 家族の理解や協力がでない	39
7. 人間関係がわずらわしい	166
8. 身近なところに活動する場所がない	63
9. 社会活動に関する情報がない	110
10. 特になし	25
11. その他	41

(単位：件数)

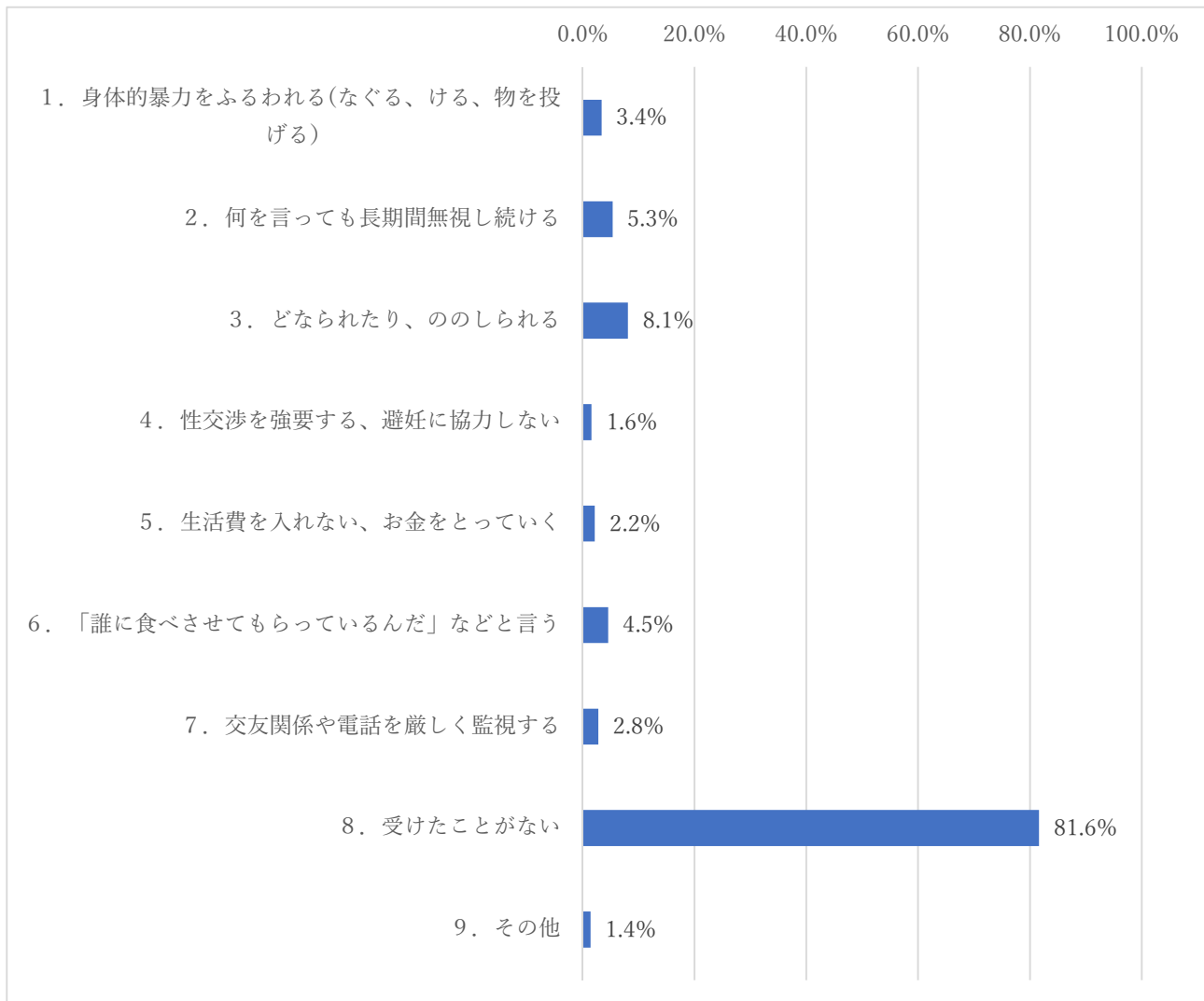
＜「その他」の自由記述＞

- ・学校とアルバイトがあり時間がない
- ・休日はリフレッシュを主体にするため、社会活動に割り当てる時間が少なくなる
- ・国県の支援がない
- ・最近介護職員研修を受講し始めました
- ・社会活動をすることには満足感・社会にとっての自分の必要性を感じられる様な周りの環境
- ・障害があってもヘルパーを使って参加できるようにしてほしい
- ・相互扶助の必要なくない。余計な事したくない思い
- ・地域の役割分担
- ・無理やり参加させられた経験

暴力等についておたずねします。

問 15 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）から一度でも次のような行為を受けたことがありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「受けたことがない」が81.6%、受けたことがある人の中では「どなられたり、ののしられる」が8.1%、「何を言っても長時間無視し続ける」が5.3%、「誰に食べさせてもらっているんだ」などと言う」が4.5%の順となっています。



1. 身体的暴力をふるわれる(なぐる、ける、物を投げる)	17
2. 何を言っても長期間無視し続ける	27
3. どなられたり、ののしられる	41
4. 性交渉を強要する、避妊に協力しない	8
5. 生活費を入れない、お金をとっていく	11
6. 「誰に食べさせてもらっているんだ」などと言う	23
7. 交友関係や電話を厳しく監視する	14
8. 受けたことがない	413
9. その他	7

(単位：件数)

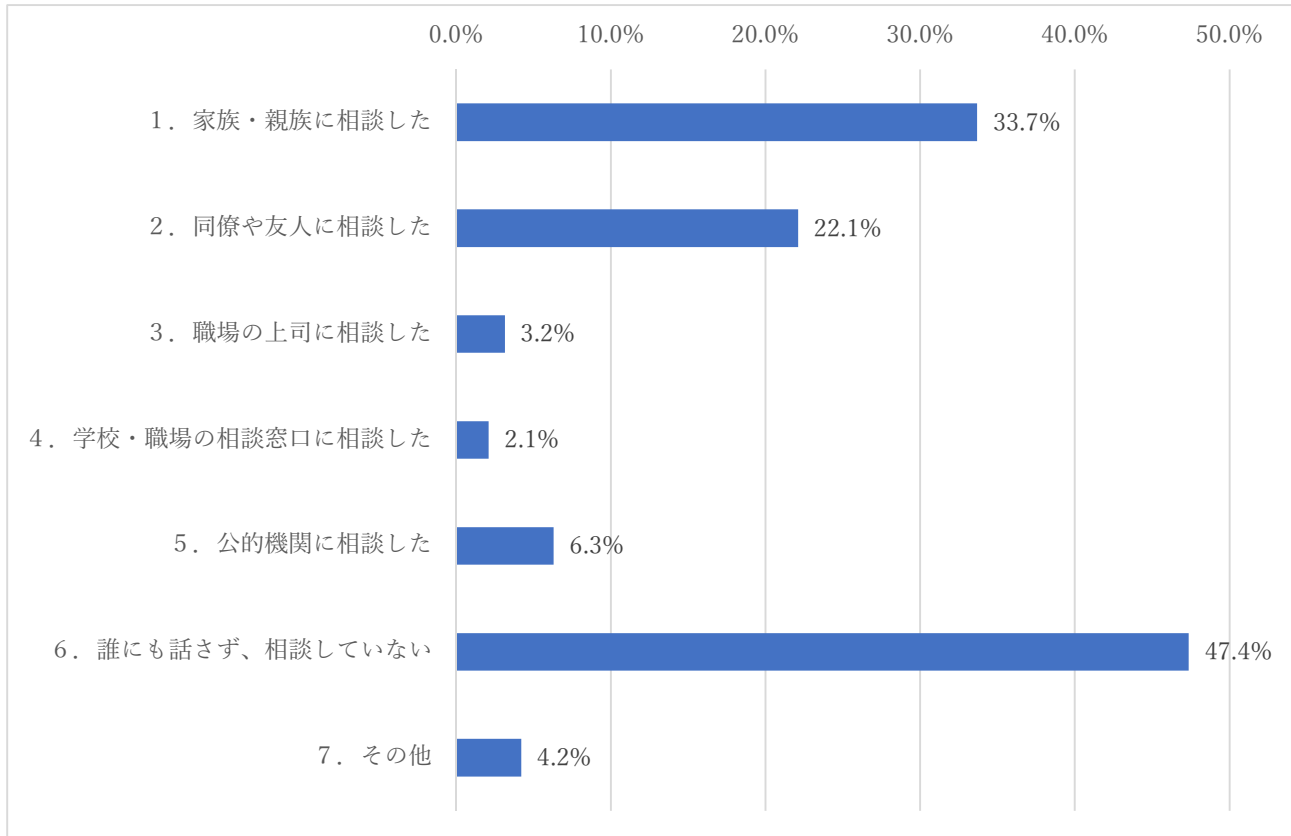
＜「その他」の自由記述＞

- ・あるにはあるが重く受け止めるほどでもない
- ・まず無視をよそおって相手の心の奥底を視る事に心がける
- ・威圧的な言動
- ・言葉の暴力
- ・常に下にみられている
- ・多少の事はあれど、特に気にしていない
- ・聞いてないのに次々とクレジットカード決済をする
- ・夕食時等に電話があると機嫌が悪い

問 16 問 15 で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします。

何らかの行為を受けたことについて、誰かに話したり、相談しましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

「誰にも話さず、相談していない」が 47.4%、「家族・親族に相談した」が 33.7%、「同僚や友人に相談した」が 22.1%の順となっています。



1. 家族・親族に相談した	32
2. 同僚や友人に相談した	21
3. 職場の上司に相談した	3
4. 学校・職場の相談窓口相談した	2
5. 公的機関に相談した	6
6. 誰にも話さず、相談していない	45
7. その他	4

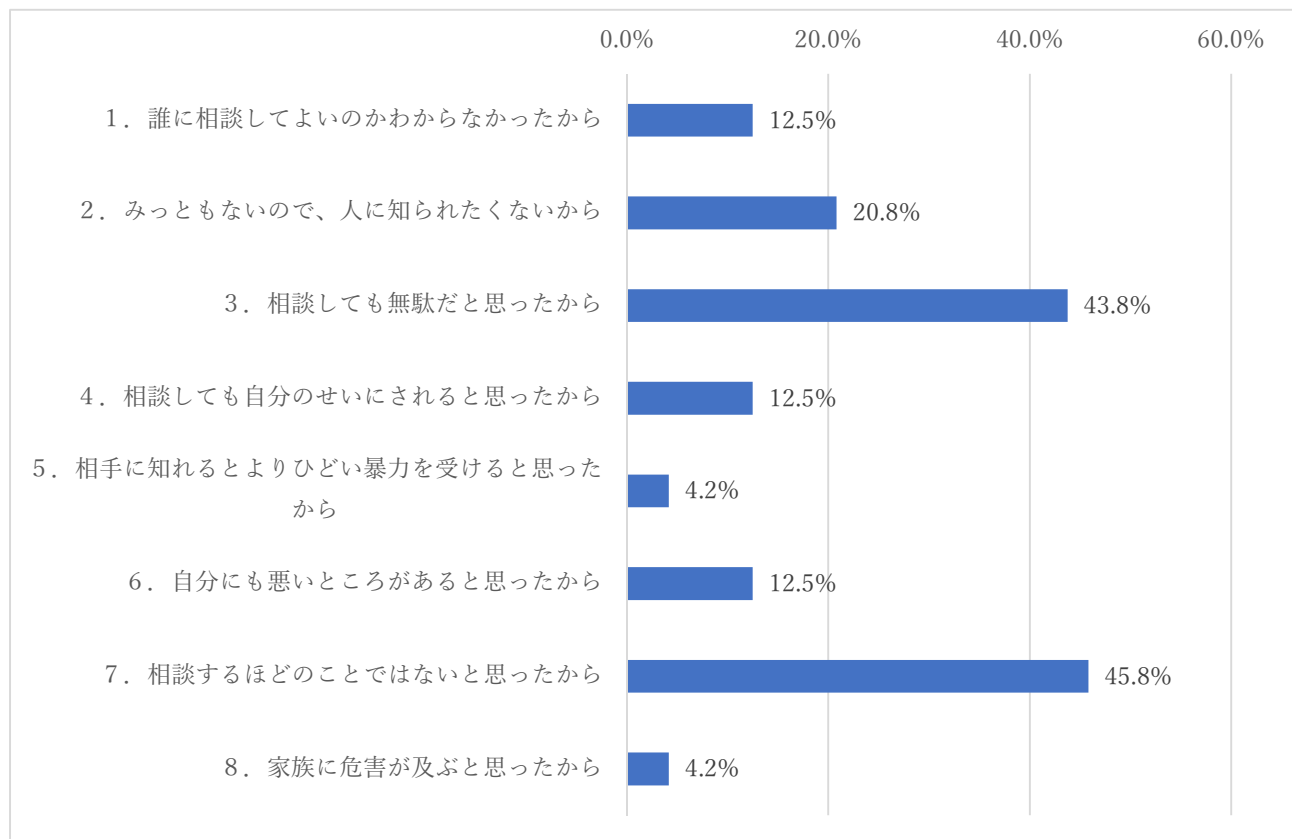
(単位：件数)

<「その他」の自由記述> 記載なし

問 17 問 16 で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きします。

相談しなかったのは、なぜですか。あてはまるものすべてを選んでください。

「相談するほどのことではないと思ったから」が 45.8%、「相談しても無駄だと思ったから」が 43.8%、「みっともないので、人に知られたくないから」が 20.8%の順となっています。



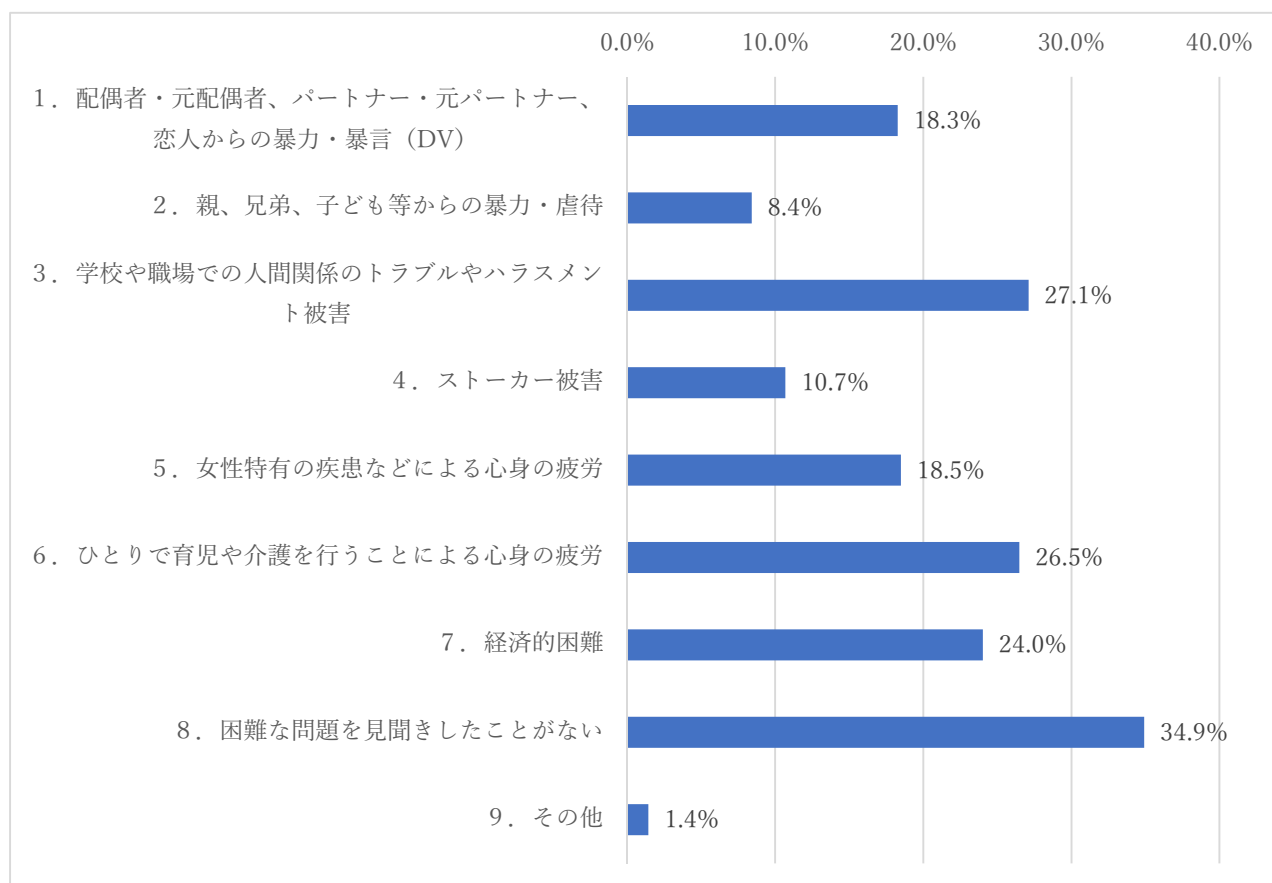
1. 誰に相談してよいのかわからなかったから	6
2. みっともないので、人に知られたくないから	10
3. 相談しても無駄だと思ったから	21
4. 相談しても自分のせいにされと思ったから	6
5. 相手に知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから	2
6. 自分にも悪いところがあると思ったから	6
7. 相談するほどのことではないと思ったから	22
8. 家族に危害が及ぶと思ったから	2

(単位：件数)

「困難な問題を抱える女性（＊１）への支援」についておたずねします。

問18 あなた自身もしくは身近な女性で、女性であることを理由として、困難な問題を経験したり、見聞きしたことがありますか。あてはまるものすべてに○を選んでください。

「困難な問題を見聞きしたことがない」が34.9%、「学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害」が27.1%、「ひとりで育児や介護を行うことによる心身の疲労」が26.5%の順となっています。



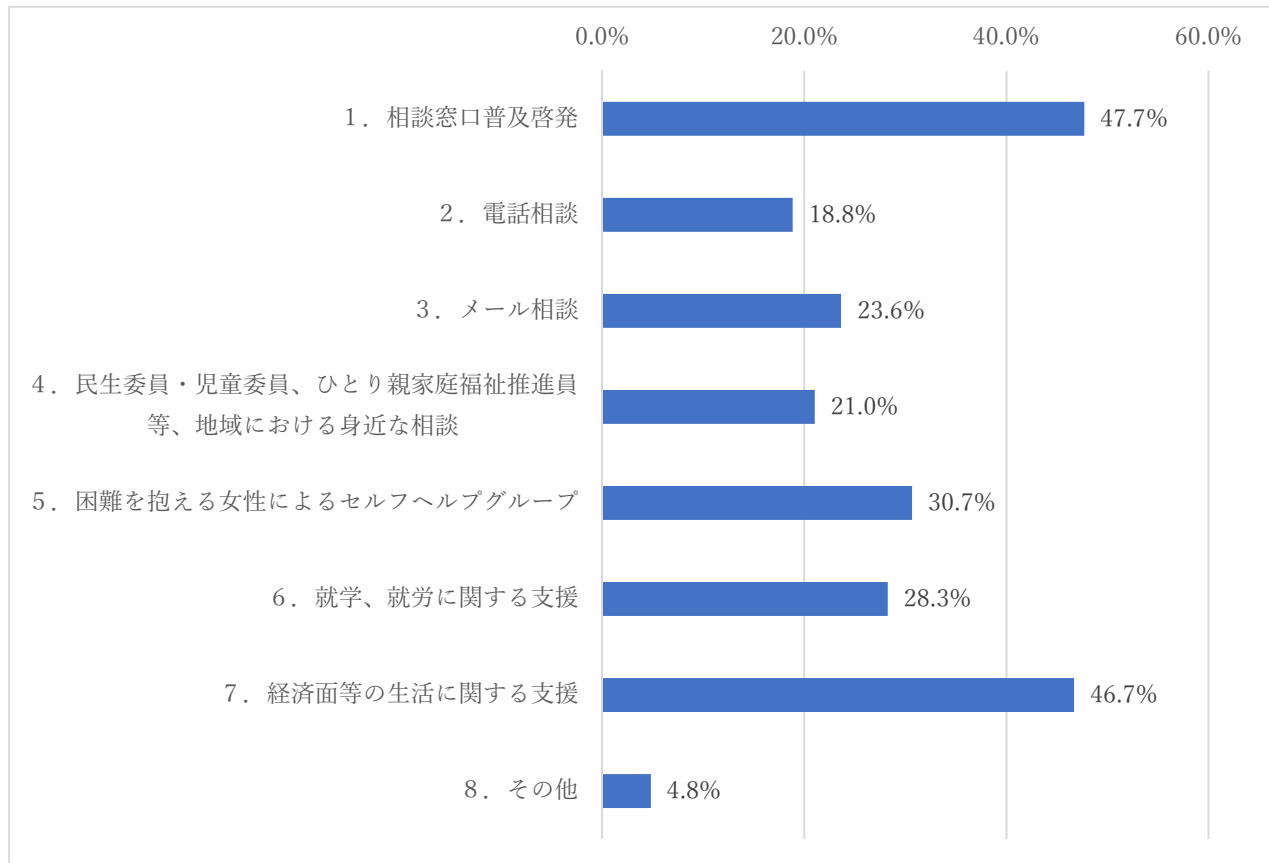
1. 配偶者・元配偶者、パートナー・元パートナー、恋人からの暴力・暴言（DV）	89
2. 親、兄弟、子ども等からの暴力・虐待	41
3. 学校や職場での人間関係のトラブルやハラスメント被害	132
4. ストーカー被害	52
5. 女性特有の疾患などによる心身の疲労	90
6. ひとりで育児や介護を行うことによる心身の疲労	129
7. 経済的困難	117
8. 困難な問題を見聞きしたことがない	170
9. その他	7

（単位：件数）

<「その他」の自由記述> 記述なし

問19 あなたは、困難な問題を抱える女性に対する支援策として、どのような支援が効果的であると思いますか。特に効果的だと思うものを3つまで選んでください。

「相談窓口普及啓発」が47.7%、「経済面等の生活に関する支援」が46.7%、「困難を抱える女性によるセルフヘルプグループ」が30.7%の順となっています。



1. 相談窓口普及啓発	238
2. 電話相談	94
3. メール相談	118
4. 民生委員・児童委員、ひとり親家庭福祉推進員等、地域における身近な相談	105
5. 困難を抱える女性によるセルフヘルプグループ	153
6. 就学、就労に関する支援	141
7. 経済面等の生活に関する支援	233
8. その他	24

(単位：件数)

<「その他」の自由記述>

- ・LINEで相談
- ・人権意識の高揚

性的指向およびジェンダーアイデンティティの多様性に関することについて おたずねします。

問20 LGBTについてどのようなイメージをもっていますか。1つだけ選んでください。

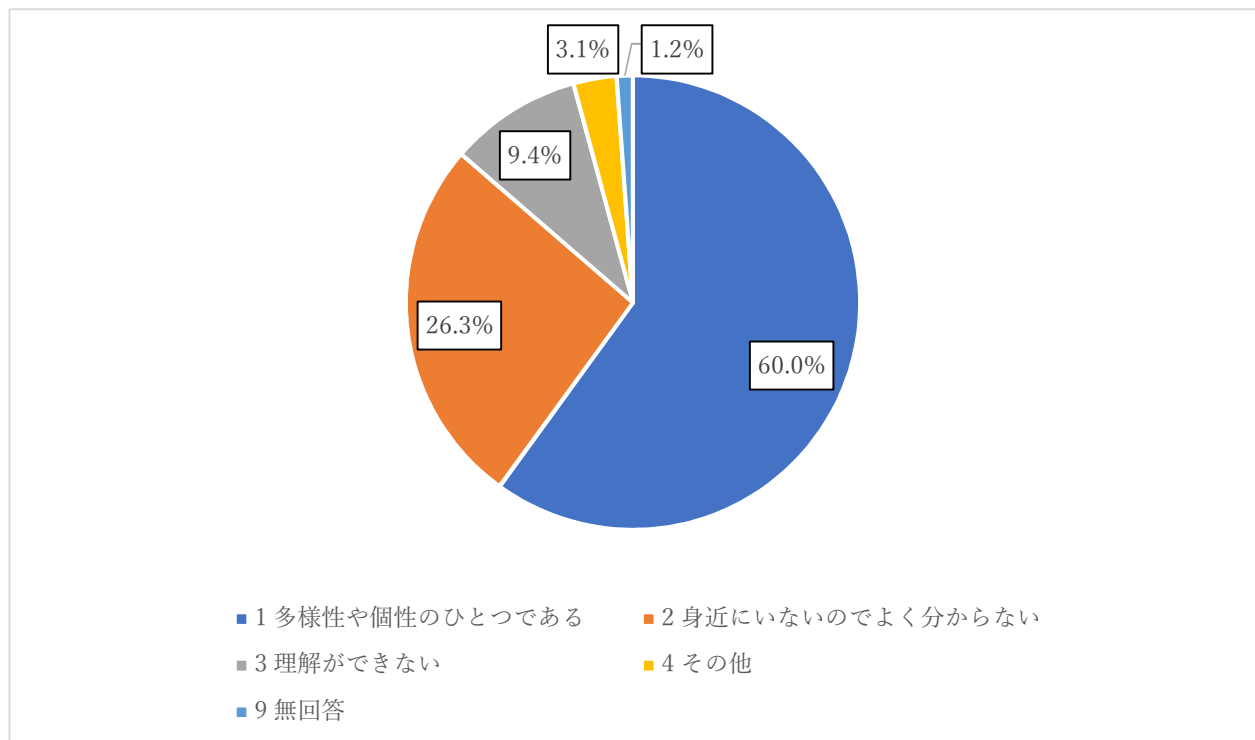
L：レズビアン（心の性が女性で恋愛対象も女性の人）

G：ゲイ（心の性が男性で恋愛対象も男性の人）

B：バイセクシュアル（異性と同性、どちらも恋愛対象となる人）

T：トランスジェンダー（こころの性と体の性が一致しないため、体の性に違和感をもつ人）

「多様性や個性のひとつである」が60.0%、「身近にいないのでよく分からない」が26.3%、「理解ができない」が9.4%でした。



1 多様性や個性のひとつである	312
2 身近にいないのでよく分からない	137
3 理解ができない	49
4 その他	16
9 無回答	6

<「その他」の自由記述>

- ・LGBT に関しては特に問題はないと思うが、現行の物事を急に LGBT に配慮したものに変更するのは迷惑であり不便であると思う。またそのようなことをすれば多くの問題が生じると思う
- ・みんな（LGBT じゃない人）が過剰に反応している
- ・何も思わない
- ・言葉にとらわれすぎている
- ・行き過ぎた平等。大阪万博のトイレ
- ・自由であるが、他人に強要するものでない
- ・十人十色

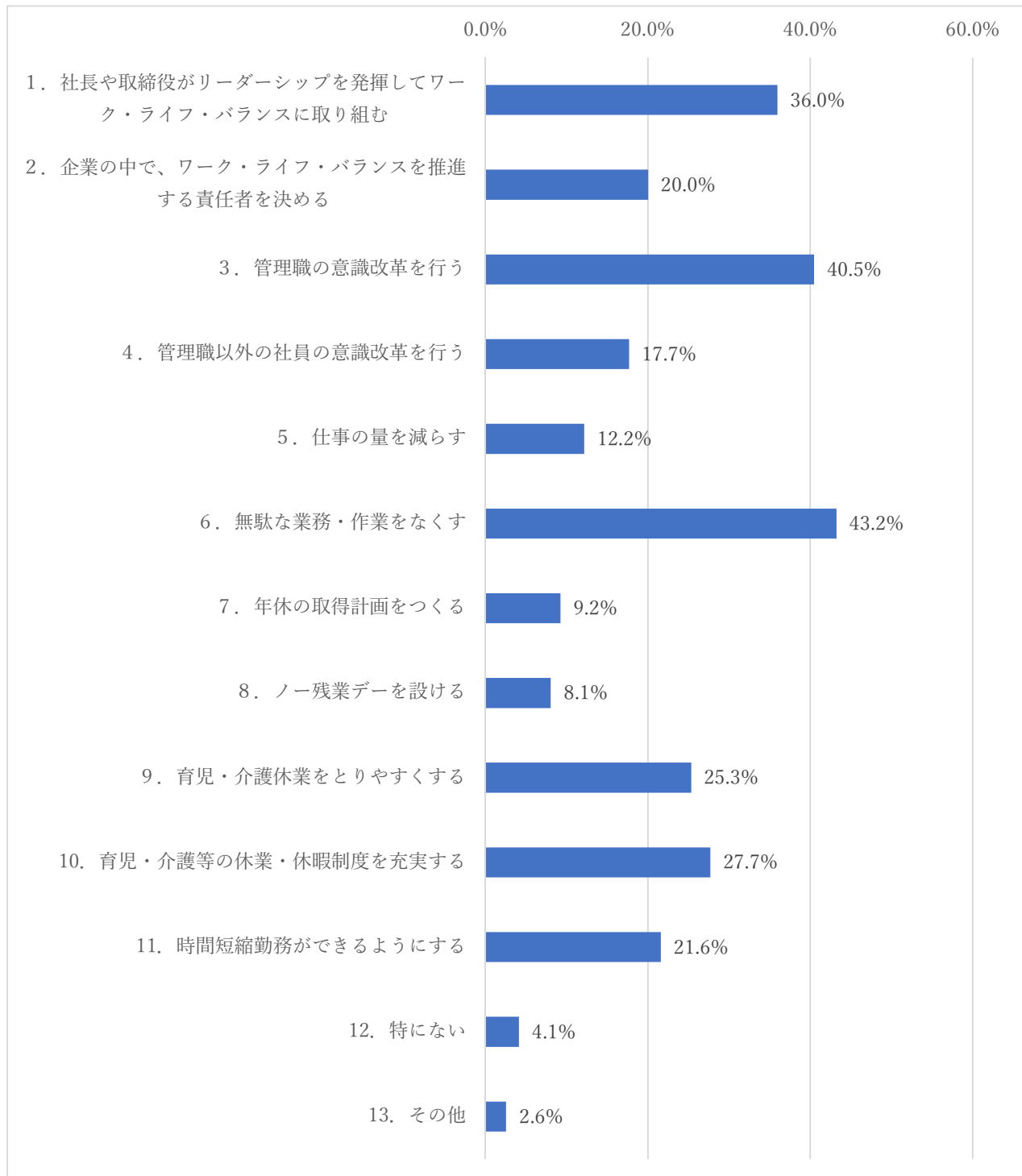
- ・ 致し方ない事柄
- ・ 特に意見はない
- ・ 日本ではすでに実現できている。必要を感じない
- ・ 聞いたときは驚くが何とも思わない
- ・ 本当に悩んでいる人もいるが、LGBT を隠れ蓑にする性加害者の存在と言う問題が存在する
- ・ 理解できないがしよと思う
- ・ 理解はするが、だから何？という感じ
- ・ 理解はできるが賛成はできない

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてたずねします。

問21 「仕事と生活の調和がとれる生活（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために、①企業による取組と②行政による取組が考えられますが、あなたはそれぞれどのような取組が必要だと思われますか。

①企業による取組（3つまで選んでください）

「無駄な業務・作業をなくす」が43.2%、「管理職の意識改革を行う」が40.5%、「社長や取締役がリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組み」が36.0%の順となっています。



1. 社長や取締役がリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む	183
2. 企業の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める	102
3. 管理職の意識改革を行う	206
4. 管理職以外の社員の意識改革を行う	90
5. 仕事の量を減らす	62
6. 無駄な業務・作業をなくす	220
7. 年休の取得計画をつくる	47
8. ノー残業デーを設ける	41
9. 育児・介護休業をとりやすくする	129
10. 育児・介護等の休業・休暇制度を充実する	141
11. 時間短縮勤務ができるようにする	110
12. 特にない	21
13. その他	13

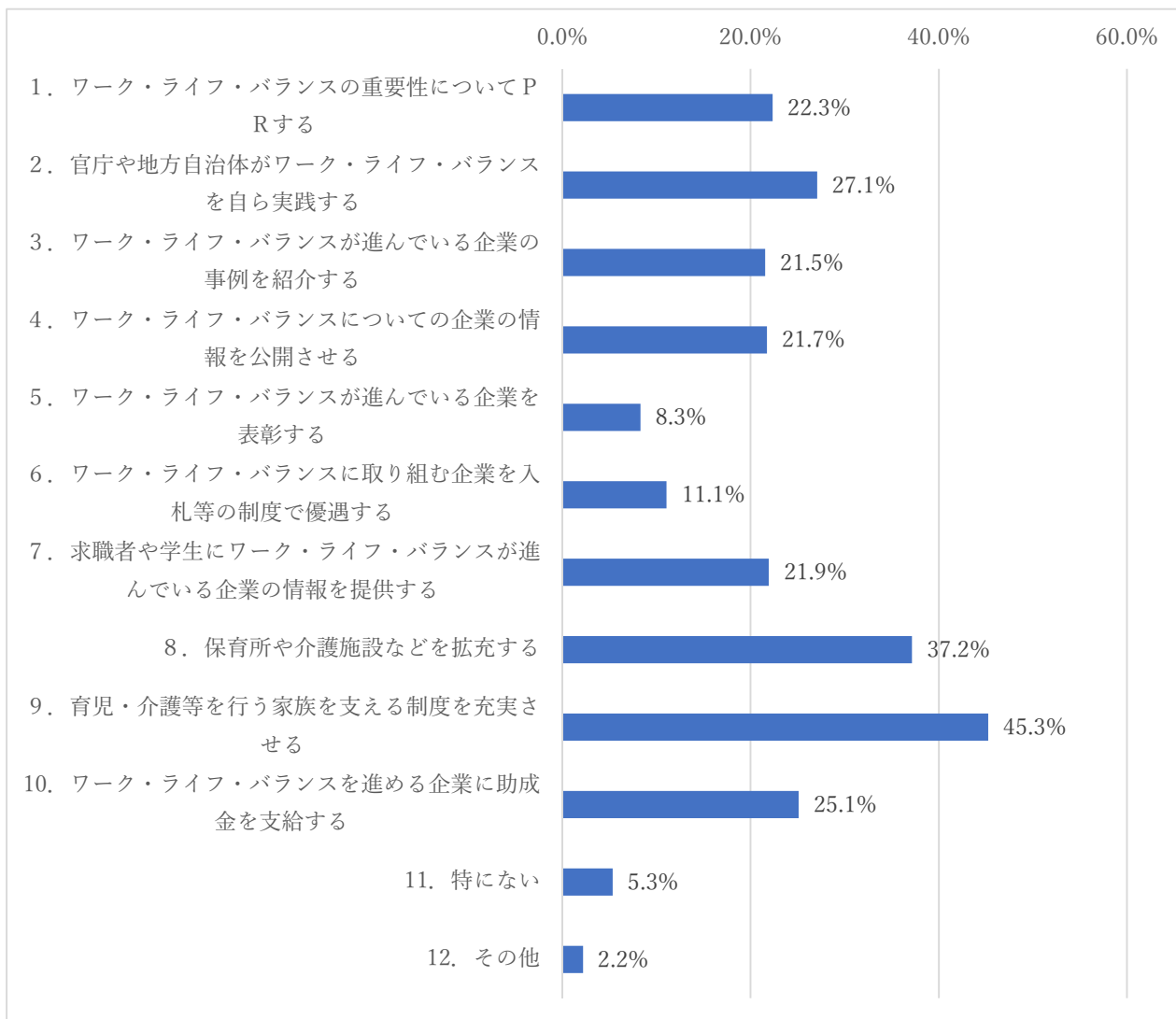
(単位：件数)

<「その他」の自由記述>

- ・AIの活用、DX（事業効率の最大化）
 - ・リモートワークと賃上げ
 - ・一人ひとりに合った取り組みをする必要があるから、ワーク・ライフ・バランスを自分が把握してそれを上司と共有するなどする必要がある
 - ・給与を上げる
 - ・給料が上がらない
 - ・採用人数の充実
 - ・自営業にはワーク・ライフ・バランスする余裕はない
 - ・周りのことは気にしないメンタル。上司が仕事してようが、一日のやることやったら堂々と帰ることができるか。それでも残業して働きたい人は働ければいい
 - ・信頼の構築
 - ・必要がない
 - ・部署によって、ワーク・ライフ・バランスが取れてる事業とそうでない事業が出ないようにする
- 有給休暇を100%取得しやすい環境づくり

②行政による取組（3つまで選んでください）

「育児・介護等を行う家族を支える制度を充実させる」が45.3%、「保育所や介護施設などを拡充する」が37.2%、「官庁や地方自治体がワーク・ライフ・バランスを自ら実践する」が27.1%の順となっています。



1. ワーク・ライフ・バランスの重要性についてPRする	113
2. 官庁や地方自治体がワーク・ライフ・バランスを自ら実践する	137
3. ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の事例を紹介する	109
4. ワーク・ライフ・バランスについての企業の情報を公開させる	110
5. ワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業を表彰する	42
6. ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を入札等の制度で優遇する	56
7. 求職者や学生にワーク・ライフ・バランスが進んでいる企業の情報を提供する	111
8. 保育所や介護施設などを拡充する	188
9. 育児・介護等を行う家族を支える制度を充実させる	229
10. ワーク・ライフ・バランスを進める企業に助成金を支給する	127
11. 特にない	27
12. その他	11

（単位：件数）

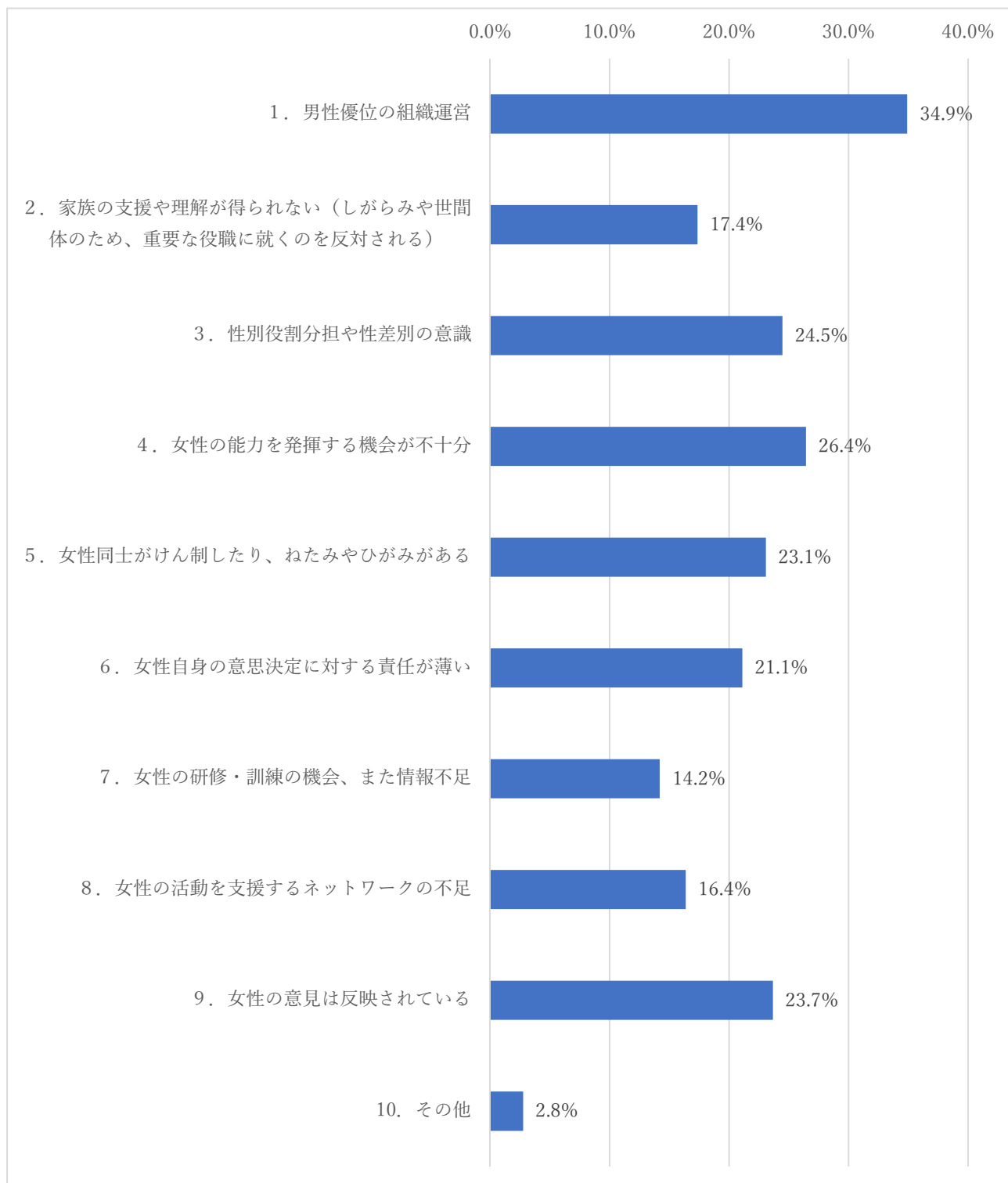
＜「その他」の自由記述＞

- ・官庁や地方自治体などは、男女の平等感や、厚生（福祉）の対策はとられているので、民間企業などではまだまだかとも思われる
- ・企業の賃上げへのインセンティブの付与
- ・強制的指導
- ・教育関係の職場は労働時間が異常な感じがする！
- ・行政が過度な情報提供、課内での競争を控える
- ・採用人数を充実させる
- ・仕事と生活の調和が取れるかは仕事によると思う
- ・必要ない
- ・表彰、助成された企業の現地調査
- ・物価対策、消費税減税、裏金等の無駄を無くし、国民の手取りと物価のバランスを正常化すべき

政策・方針決定の場への参画についておたずねします。

問 22 政策などの立案や方針決定において女性の意見が反映されていると思いますか。反映されていると思われる場合は女性の意見は反映されているに選択してください。反映されていると思わない場合はあてはまるものすべてを選んでください。

「男性優位の組織運営」が 34.9%、「女性の能力を発揮する機会が不十分」が 26.4%、「性別役割分担や性差別の意識」が 24.5%の順となっています。



1. 男性優位の組織運営	177
2. 家族の支援や理解が得られない (しがらみや世間体のため、重要な役職に就くのを反対される)	88
3. 性別役割分担や性差別の意識	124
4. 女性の能力を発揮する機会が不十分	134
5. 女性同士がけん制したり、ねたみやひがみがある	117
6. 女性自身の意思決定に対する責任が薄い	107
7. 女性の研修・訓練の機会、また情報不足	72
8. 女性の活動を支援するネットワークの不足	83
9. 女性の意見は反映されている	120
10. その他	14

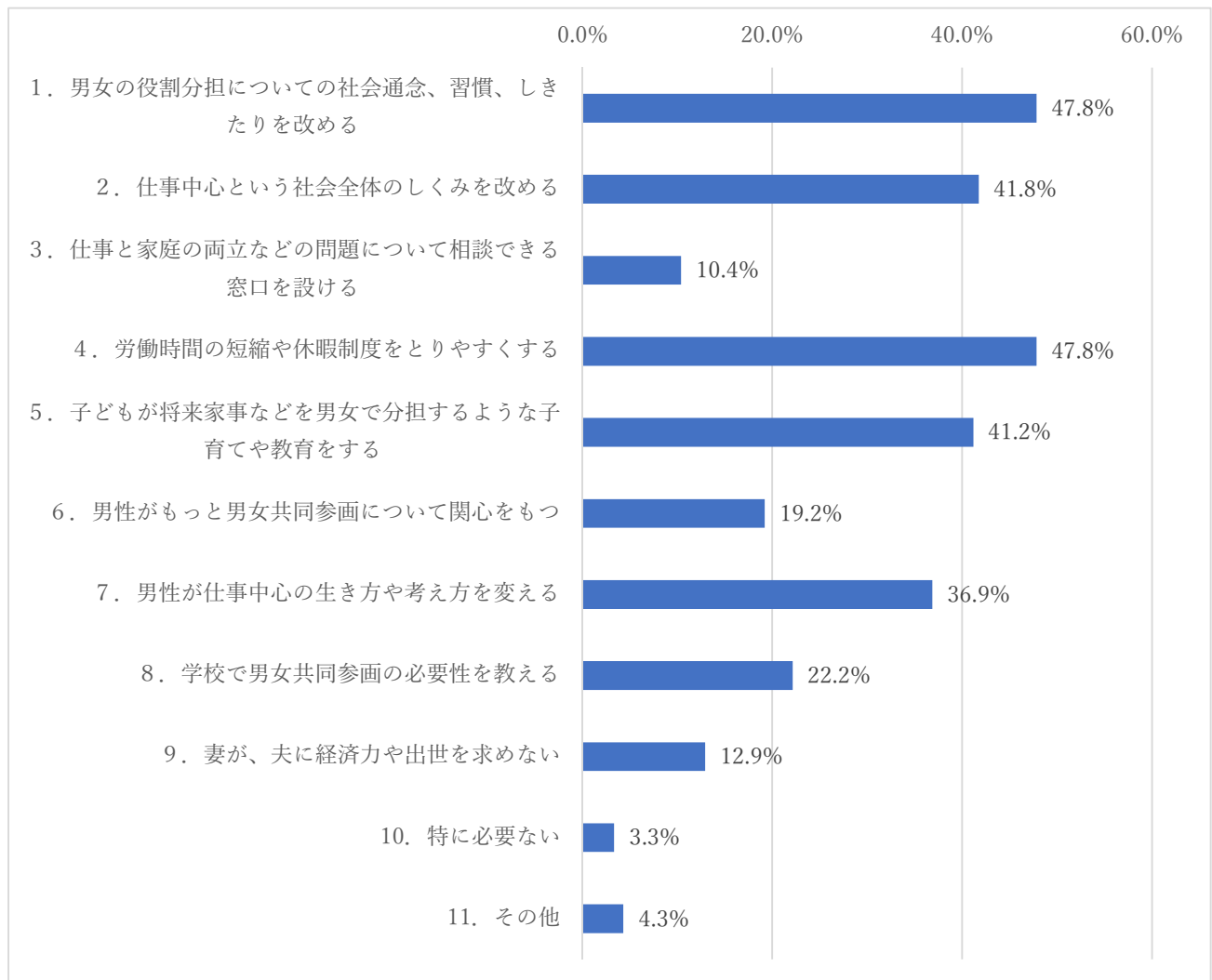
(単位：件数)

<「その他」の自由記述>

- ・ その場にはいないので返答はできません
- ・ よくわからない
- ・ わからない
- ・ わかりません
- ・ 現状を知らない
- ・ 女性への男性の理解不足
- ・ 政策の立案、決定について反映されているか否かがわからない（見えない）
- ・ 村社会での集会は男性優位に決定されることが多く女性の意見や気持ちなどは無視されがちであると感じています
- ・ 男女で得意分野が異なるので適材適所が望ましい

問 23 あなたは、今後男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改める」と「労働時間の短縮や休暇制度をとりやすくする」が47.8%、「仕事中心という社会全体のしくみを改める」が41.8%の順となっています。



1. 男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改める	244
2. 仕事中心という社会全体のしくみを改める	213
3. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	53
4. 労働時間の短縮や休暇制度をとりやすくする	244
5. 子どもが将来家事などを男女で分担するような子育てや教育をする	210
6. 男性がもっと男女共同参画について関心をもつ	98
7. 男性が仕事中心の生き方や考え方を変える	188
8. 学校で男女共同参画の必要性を教える	113
9. 妻が、夫に経済力や出世を求めない	66
10. 特に必要ない	17
11. その他	22

(単位：件数)

＜「その他」の自由記述＞

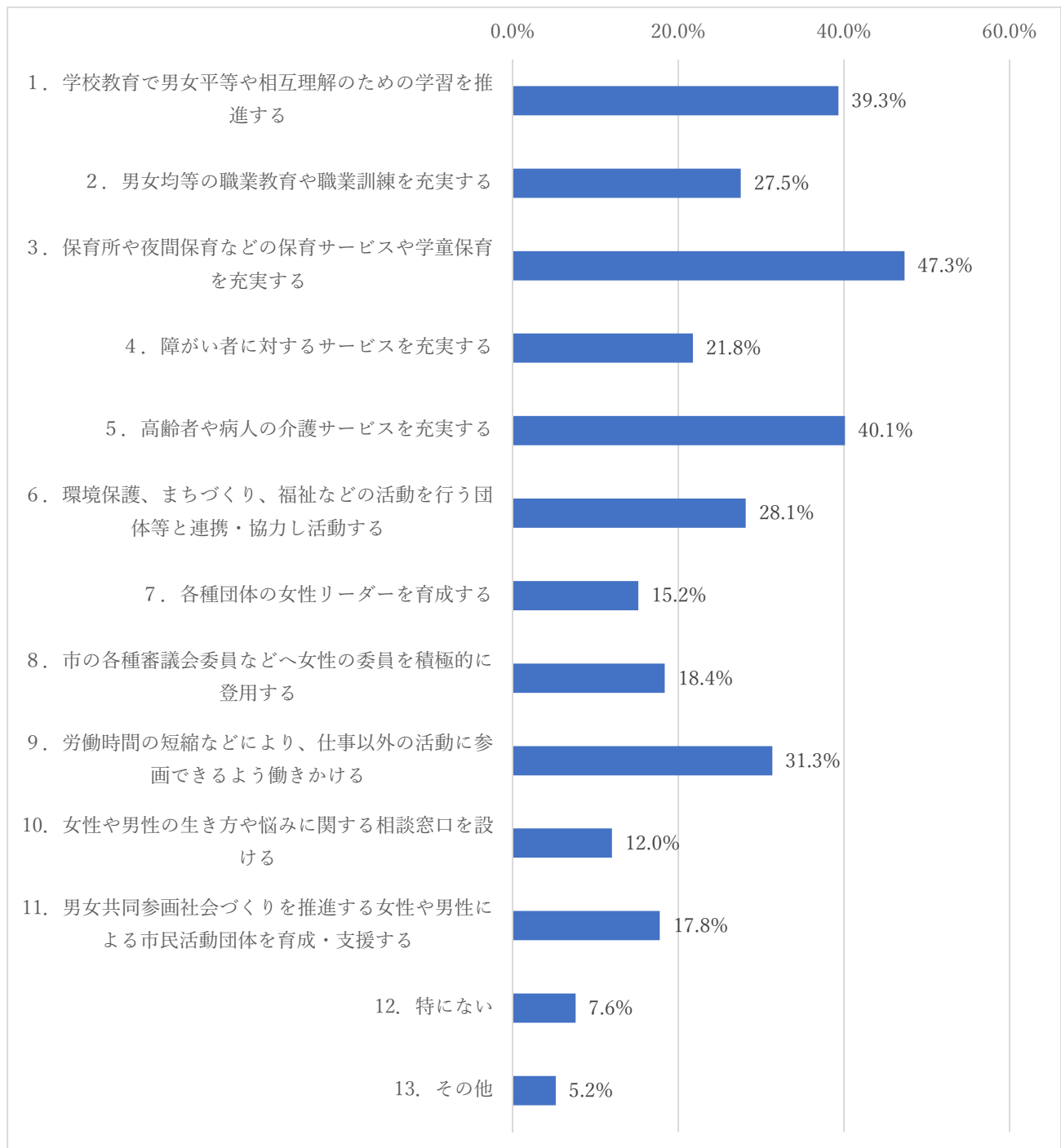
- ・ お金について、意識を深める勉強が必要。多いのが良いではない事を知る必要がある
- ・ そもそも男性が家事、育児に参加するために何が必要かって聞くこと自体がおかしい
- ・ それぞれの意思を大切にする
- ・ なんでもかんでも平等とはならない。女性は男性のように重いものを持ってない。男女だけでもそれぞれに特性が違う。個人によれば余計にそうであり、平等より公平であってほしい
- ・ 家計豊か、家事する男性多い社会になれば
- ・ 家族の理解
- ・ 給与増額や時間的な余裕。母親が働かなければくらしがなりたない。といった経済状態の改善
- ・ 今の時代、女性が積極的に上記のものに参加していないケースも増えていると感じる。性別だけでなく自発的に参加する必要性を感じれば積極的に参加する人も増えるのではないかな
- ・ 妻が妊娠、出産間近、出産後の同僚がいた場合、無理に飲み会に誘わない。祝い＝飲み会の習慣を無くす
- ・ 参加させた企業に対する補助金等を設ける
- ・ 仕事に割く時間が減ればその分給料が減ります。もらっている給料が少ないのに減らせるわけがない。
- ・ 女性に家事等をもとめない。固定観念にとらわれず、家庭のこと経済的なことをだれがどの程度負担するのか決めること。頼れる部分は公的機関やサービスを利用することを考える
- ・ 小さい時から、家事のやり方を家庭や学校で学ぶ
- ・ 男女どちらでも良いが、一人の稼ぎで子を養っていけるようになることが望ましい
- ・ 男性がと言っているところが、男女差別になっていると思う。男性が主に家事をしている家庭もあるのではないかな
- ・ 男性が職場にいなくてもいいように、職場をたくさんの人数で回して仕事が回るようにする→家に帰れるようになり、夫婦がともに子育てを行う場面が増えるのではないかな
- ・ 男性でないとできないことが多くあり、男女共同参画の内容が大事。物理的に女性にはできないことがある。女性でないとできないことの方が少ないかもしれない
- ・ 男性にも家事や子育てをするのに向き不向きがあると思う無理にさせる必要はないと思う。やってほしいのはやまやまだが…。育休も男性は3ヶ月間くらいでよいと思うプラス一年以内は子供が熱をだしたり母親に用事がある時など休みがとれる計20日間程あれば良いのではないかな
- ・ 男性に家事や育児、介護のスキルがない、またはやる気が全くない。意識改革や、スキルを得る機会が必要
- ・ 夫と妻どちらの方が収入が多いかでバランスを整えればよいと思う。あとは本人達で決める
- ・ 夫婦で話し合っただけ
- ・ 本来家事育児・介護は女性ホルモンが作用しているので、女性ホルモンのない男性は苦手である

高島市の取り組み等についておたずねします。

問 24 あなたは今後、男女がともに家庭生活や職業生活を営み、地域活動に積極的に参画していくために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてを選んでください。

「保育所や夜間保育などの保育サービスや学童保育を充実する」が 47.3%、「高齢者や病人の介護サービスを充実する」が 40.1%、「学校教育で男女平等や相互理解のための学習を推進する」が 39.3%の順となっています。



1. 学校教育で男女平等や相互理解のための学習を推進する	197
2. 男女均等の職業教育や職業訓練を充実する	138
3. 保育所や夜間保育などの保育サービスや学童保育を充実する	237
4. 障がい者に対するサービスを充実する	109
5. 高齢者や病人の介護サービスを充実する	201
6. 環境保護、まちづくり、福祉などの活動を行う団体等と連携・協力し活動する	141
7. 各種団体の女性リーダーを育成する	76
8. 市の各種審議会委員などへ女性の委員を積極的に登用する	92
9. 労働時間の短縮などにより、仕事以外の活動に参画できるよう働きかける	157
10. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談窓口を設ける	60
11. 男女共同参画社会づくりを推進する女性や男性による市民活動団体を育成・支援する	89
12. 特になし	38
13. その他	26

(単位：件数)

<「その他」の自由記述>

- ・ご近所付き合いを積極的にする。
- ・すべての質問に対して、男女とか言うてる事が問題と感じる
- ・それぞれの意思を大切にできるような支援
- ・どれという事ではなく、全てではないのでしょうか。敢えて選択させる問題ではないと思うが... アンケートあるあるについて、アンケートを実施、回収して集計、グラフ化するまではどこでもよくあることですが、重要なのはそれをどう生かすかです。我々市民に年4回×3年(?)の負担をかけるのであれば、そのアンケートの結果を市報で発表するだけでなく、どうしていくのかを具体的に実現する方向で示してほしい。アンケートの解答手段として①そう思う②ある程度そう思う③ある程度そう思わない④そう思わない⑤わからない等の設問の仕方がありますが、これで何が判り、どういう方向に持っていくのか?が決められるのでしょうか?疑問です。私には担当者(課)の方が示された方針について「やっていますよ。」というパフォーマンスをしているようにしか見えないのですが...
- ・もろ刃の剣、行き過ぎた平等は困ります
- ・ゆとりある生活
- ・何をするにも、目標の設定と結果の総括をする
- ・回覧板などで呼びかける
- ・企業誘致、産業育成による機会提供
- ・行政の問題ではないように思います
- ・行政職員の意識。窓口相談で社会通念を前提で対応されて挫けそうになる
- ・高収入が得られる企業を増やす事
- ・高島市は割と充実していると思う
- ・子供の公園を作してほしい
- ・市内の子どもに高島市の魅力について(企業、育児なども)興味関心が持てるように発信し高島市にずっと住みたいと思える取り組みに力を入れるべきと思う
- ・思いやりの心や物事を愛する気持ちを持つことが何事にも大切であると思います
- ・自治会に必要性について理解を求め、一番身近な所から改善されるよう働きかける

- ・自治会や区の高島市における男女の不平等は、地域社会における不平等が温存されていて、女性も慣れて、楽だからと男性に任せている状況があるので、身近にある自治会や、区の協議会の運営に、50%まで女性の比率を増やすよう要請する。(抵抗はあると思うが、新しい取り組みが始まる可能性もある。)
- ・巡回バスを望む。町内バスの代用の自動車でも回れる様にスーパー平和堂今津店(その周りの店舗含む)までその車に乗って行き帰りできるよう、高齢者になって運転免許証を返納してからも動ける範囲を(それ以前のように)維持できればありがたいなと思います。便利の良い地域に住居していますが、歩くのが負担になる老人では難しいことに。→運転免許証は主人が持ってまして、乗せてもらって買い物に行っています
- ・女性担当者を会社で決める→男性ばかりが担当になりがち
- ・性別に囚われず、能力や適性のある人が輝ける採用環境を整える
- ・設問の課題解決に資する選択肢がない
- ・先ほども答えたように、社会や会社で活躍したい人もいれば、家族や家事を優先したい人もいます。それぞれが認められて報われる社会であってほしい
- ・男性向けの家事スキル向上講座など、実践力をつける手助け
- ・田舎のコミュニティだけでは限界があるので外部講師の講演を聞くなどして行政・企業の意識を向上させる。ただしスピ気味の人には要注意
- ・保育園等はいくまで日中勤務の範疇であるべきだと思う。夕方?夜間は家庭で子育てができるように他の職業が早く帰れる仕組みを整えてほしいです